

第九十回
帝國議會
貴族院

臨時物資需給調整法案特別委員會議事速記録第三號

付託議案

○臨時物資需給調整法案

昭和二十一年九月二十六日(木曜日)
午前十時九分開會

○委員長(男爵古市六三君) ソレデハ
昨日ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、
商工省府委員カラ、昨日委員ノ方カ
ラ御要求ニナリマシタ資料ニ付テノ御
報告ガアリマス

○政府委員(鈴木重郎君) 昨日御質疑
ノゴザイマシタ眞空管ノ品質ノ問題ニ
付キマシテ、御説明ヲ申上ゲマス、聯
合軍司令部カラノ日本政府ニ對スル指
示ニ依リマシテ、可及的速カニ日本全
國戸數ノ半數ハ少クトモ「ラデオ・セ
ット」ヲ設置スルヤウニト云フ指示ガ
ゴザイマシタノデ、之ニ基キマシテ出
來得ル限り優秀ナ受信器ノ生産ニ努力
ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、御質疑
ノゴザイマシタヤウニ、歐米ノ受信器
ニ比ベマシテ、其ノ技術的ナ品質ガ極
メテ不良デアアルコトハ、誠ニ遺憾ナ點
デゴザイマスガ、其ノ内特ニ眞空管ニ
付キマシテ、今日其ノ質的ノ改良向上
ニ努力ヲ致シテ居リマスガ、尙極メテ
困難ナ事情ガアルノデゴザイマス、特
ニ眞空管製造ノ上ニ於キマシテ、一番
困難ニナツテ居リマスルノハ、主トシ
テ眞空管製造ニ必要デアリマスル所ノ

原材料ノ品質ノ問題デゴザイマス、特
ニ眞空管ノ製造ニ最モ關係ノゴザイマ
スノハ、之ノ製造ニ必要ナ石炭デゴザ
イマスルガ、發生爐用炭ノ「カロリー」
ハ、少クトモ眞空管ノ如キモノニ付キ
マシテハ七千「カロリー」以上程度ノ
優良炭ヲ必要ト致スノデゴザイマス、
併シナガラ今日ノ事情、必ズシモ斯ウ
云フ優良炭ヲ確實ニ入手スルト云フコ
トモ困難デゴザイマシテ、大體平均ヲ
致シマスルト、今日ノ處、四千「カロ
リー」カラ五千「カロリー」程度ノ原
料炭シカ人ツテ居ナイノデゴザイマス
從ヒマシテ、出來マスル眞空管其ノモ
ノ品質ガ、餘リ優良ナモノガ出來ナイ
ト云フヤウナコトガ一つノ理由デゴザ
イマス、次ニ第二ノ理由ト致シマシテ
ハ、眞空管ヲ組成致シテ居リマスル色
色ノ部品、例ヘバ「フイラメント」デ
アルトカ、或ハ「グリッド」デアルト
カ、斯ウ言ツタヤウナ品物ノ質ガ均一
ナモノガナカク出來ニクイ、從ヒマ
シテ、之ヲ揃ヘマシテ困難ヲ感ジテ
居ルヤウナ狀況デゴザイマス、第三ハ、
是等ノ部品ヲ作りマスル所ノ原材料デ
アリマスル「タンクステン」或ハ「モリ
ブデン」ト云ツタヤウナ關係ノ原礦石
ノ品質ガ、ナカク揃ツタモノガナイ
譯デゴザイマシテ、御承知ノ通り、是等
ノ「モリブデン」ハ朝鮮カラ出マシタ

モノヲ持ツテ居ツタ在庫ダケデゴザイ
マスルシ、「タンクステン」ハ御承知
ノ通り、中南支ト云フヤウナ方面カラ
ノ產物デゴザイマシテ、現在ノ處、多
少マダ在庫品トシテハ持ツテ居ルノデ
ゴザイマスルガ、之ノ品質ガナカク
不揃ヒデゴザイマシテ、此ノ選別ニ非
常ナ困難ヲ感ジテ居リマスル結果、是
等ヲ使ヒマシテ出來マシタモノガ、矢
張り材質的ニ均一ナモノガ得ラレナイ
ト云フコトガ、大キナ理由デゴザイマ
ス、尙又、是モ輸入デアツタノデアリ
マスガ、絕緣材料トシテ使ツテ居リマ
スル雲母ガ、是亦極メテ品質ガ惡イノ
デゴザイマシテ、從來印度ナリ、「ブ
ラジル」方面カラ輸入シテ居ツタノデ
アリマスガ、是等ノ優良ナ雲母ガ最近
不足ヲシテ參リマシテ、矢張り品質ノ
揃ハナイモノヲ無理ヲシテ使フト云フ
ヤウナコトガ、其ノ大キナ原因デゴザ
イマス、之モ現在、優良ナ製品ノ關係
方面ニ懇請ヲ致シマシテ、目下輸入ノ
申請ヲ致シテ居リマスルノデ、何レ優
良ナモノガ入リマスレバ、雲母等ニ付
キマシテハ、或程度ノ改善ガ出來ヤウ
カト存ズルノデアリマス、又「ガラス」
ノ部分ト合成樹脂ノ部分トヲ繋イデ居
リマスルヤウナ色々ノ接合劑ノ品質ガ
良クナイノデゴザイマス、合成樹脂ナ
リ「セラック」等、此ノ原料ハ「クレ

ゾール」デアリマスガ、「セラック」等
ハ輸入ニ俟タナケレバナラヌ關係上、
是等ノ接合劑ノ品質ガ現在ノ處、漸次
惡クナツテ參リマシテ、是モ亦現在輸
入ノ手續ヲ致シテ居ルノデゴザイマス
ガ、斯ウ云フ風ナ理由カラ、現在其ノ質
的ナ改善ガ思フヤウニ進ンデ居フナイ
ノデゴザイマス、尙一應出來マシタ眞
空管ノ性能等ノ検査、或ハ試験ト云フ
ヤウナ問題ガ、矢張り大キナ原因ニナ
ツテ居ルノデゴザイマスガ、是等ノ試
驗設備、或ハ検査設備等モ、戰災其ノ
他ノ打擊ヲ受ケマシテ、今日之ガ復興
整備ニ努力ヲ致シテ居リマスルガ、矢張
リ斯ウ言ツタ試驗設備、検査設備ノ劣
惡化ト云フコトモ、出來マシタ製品ヲ
十分ニ技術的ナ検査試験ガ出來ナイ關
係カラ、比較的粗惡ノモノガ入ルト云
フコトガ大キナ原因デアラウト思フノ
デゴザイマス、是等ノ設備ノ整備復興
ニ付キマシテハ、現在關係業者ノ中ニ、
強力ナ統制機關モ作りマシテ、是ガ專
ラ指導鞭撻ヲ當リマシテ、出來得ル限
リ優秀ナモノノ検査試験ヲ強力ニヤル
ト云フヤウニ、且下努力ヲ致シテ居ル
ノデゴザイマス、從ヒマシテ、結果的ニ
申シマスルト、現在ノ處、不十分デハ
ゴザイマスルガ、製品ノ歩留リト申シ
マスカ、一應規格ニ合格致シマスルモ
ノト致シマシテハ、平均致シマスルト、

現在ハ約四十五「パーセント」位ノ歩留
リデゴザイマシテ、約過半數ノモノガ
眞空管トシテ使ヘナイト云フヤウナ現
狀デゴザイマシテ、出來得ル限り是等
ノ材質ノ問題、試験ナリ検査ノ結果ソ
レ等ノ材質ノ選定ナリ、製造技術上ノ
向上ヲ圖リマシテ、出來得ル限り之ノ
歩留リヲ良クシ、優秀ナモノヲ造ルヤ
ウニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、
少クトモ六十「パーセント」七十「パ
ーセント」ノ歩留リヲ得ルヤウニ努力
致サナケレバナラヌト存ズルノデアリ
マス、無論眞空管ノ中ニ於キマシテモ、
色々ムツカシイ眞空管モアリ、比較的
易シイ眞空管モゴザイマシテ、例ヘバ
十二「エフ」ト云ツタヤウナ眞空管ニ
於キマシテハ、現在デハ九十「パーセ
ント」以上ノ歩留リヲ示シテ居ルノデ
アリマスガ、ナカク困難ナ球ニ付キ
マスルト、三十「パーセント」程度シ
カ歩留リガナイト云フ狀況ガゴザイマ
シテ、是等ノ生産歩留リノ向上ニ努力
ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙生産ノ
均一、大量生産ヲスル問題ニ付キマシ
テ、最近漸ク「アメリカ」式ノ眞空管
製造ノ機械ガ運轉ヲ開始致シマス、是
ハ「アイヴァンホー・マシーン」ト申
シマスガ、此ノ機械ガ運轉致シマスレ
バ、大體ニ於キマシテ一晝夜七萬五千
ノ眞空管ガ出來ルト云フ大量生産ノモ

ノデゴザイマシテ、現在ハ、此ノ眞空管ヲ手吹キデヤツテ居リマシテ、漸ク一日千二百箇位シカ出来ナイト云フヤウナモノガ、今ノヤウニ七萬モ出来ルヤウニ相成リマスレバ、相當大量生産ガ出来ルト存ズルノデアリマシテ、又機械化スルコトニ依リマシテ、比較的均一ナモノガ出来ルカト、斯様ニ努力ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス無論又、是等ノ材質上ノ問題ト關聯致シマシテ、矢張り工員ノ製造技術ノ問題モ相當アラウカト存ズルノデアリマシテ、是等ノ工員ノ製造技術ニ關スル指導等ニモ、各「メーカー」モ努力ヲ致シテ居リマスルガ、尙歐米品ノ如キ優秀ナ物ノ出来ナイコトヲ遺憾ニ存ズルノデアリマシテ、出来得ル限り速カニ歐米品ニ匹敵シ、或ハ之ヲ凌駕スルヤウナ優秀ナ眞空管ヲ造リ、又「ラジオ・セツト」ノ生産ニ努力ヲ致シタイ積リデゴザイマス、尙、次ニ礪砂、礪酸デゴザイマシテ、其ノ狀況デゴザイマスガ、一應資料トシテモ御手許ニ御配リシテアルノデゴザイマスガ、是モ亦全部輸入ニ俟ツテ得ルノデアリマシテ、從來ハ礪砂ニ付キマシテハ、主トシテ、北米カラ輸入ヲ致シテ居タノデゴザイマス、本年ノ四月頃ニ於キマシテ、大體在庫ガ二千「トン」位アリマシタノデアリマスガ、此ノ資料ニモゴザイマスヤウニ、其ノ後約九百「トン」程使用致シテ居ルノデアリマス、現在交易當局ノ手持ニナツテ居リマスモノ

ガ約千五百「トン」アリマスガ、此ノ中進駐軍關係ノ珙礪鐵器デアルトカ或ハ「ガラス」製品、陶磁器トカ云ツタヤウナ方面ノ用途ニ當テル爲ニ、現在六百二十「トン」程ヲ使用スルヤウニ手續ヲ進メテ居リマスルシ、尙其ノ外デモ、斯ウ言ツタ珙礪鐵器、或ハ陶磁器「ガラス」或ハ農機具ノ方面等ノ熔接材ト致シマシテ使フヤウニ約三百七十「トン」ヲ現在手續中デゴザイマスルガ、尙次ニ、其ノ消費モ最少限見積リマシテ、約五百「トン」少シ色々ノ農機具ナリ、或ハ珙礪鐵器、「ガラス」等ニ使ヒマスルト、少クトモ七、八百「トン」、年間ニ約一萬「トン」ハ必要デアルノデゴザイマスルガ、之ニ付キマシテハ、現在此ノ原料デアリマアル粗製品デアリマスガ、礪砂礪酸ト書イテゴザイマスルガ、一種ノ粗製礪砂デゴザイマス、之ヲ七月頃關係方面ニ懇請ヲ致シマシテ、輸入ノ手配ヲ致シテ居リマスルガ、之モ近ク輸入ガ出来ルノデハナカラウカト、斯ウ存ジテ居ルノデゴザイマス、礪酸モ大體、用途ト致シマナテハ、同ジヤウナ用途ニ使ヒマスルガ、特ニ一部ハ醫藥用等ニ使ハレルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、是ハ現在ノ處、殆ド僅カナ數量デゴザイマシテ、在庫モ全然ゴザイマセヌシ、非常ナ窮迫ナ狀況デゴザイマス、大體、以上御説明申上ゲマス

○政府委員(吉田首相) 序ニ照ノ資料ヲ御手許ニ御上ゲ致シマシタノデ簡單ニ御説明申上ゲマス、此處ニ舉ゲマシタ數字ハ、昭和十年以後ノ輸入數量及ビ消費ノ事情デゴザイマス、生産量ヲ別ニ舉ゲルコトヲ、實ハ手違ヒデ落シテ居リマシテゴザイマスガ、大體ハ消費量カラ輸入量ヲ差引キマシタノガ、其ノ年ノ生産量ニナル譯デゴザイマス、ソレカラ若干、時期的ノ數字ハゴザイマスガ、大體ノ數字ハサウ云フコトニ相成ツテ居リマス、御一讀ヲ願ヒマスヤウニ、輸入ノ輸入ハ大體一番多イ時ガ百八十萬「トン」バカリ、昭和十九年迄ニハ、大體百萬「トン」ガ、番少イ輸入デアツタノデゴザイマス、二十年デハ、ソレガ四十六萬「トン」、非常ニ下リマナテ四十六萬「トン」、更ニ本年度ハ十二萬三千「トン」、主トシテ中國方面ノ輸入デアリマシテ、最近ハ臺灣ノモテガ若干入ツテ居ルノデゴザイマス、其ノ工業鹽、食料鹽ノ比率ハ此ノ表デ御覽ノ通りデゴザイマスルガ現在消費ノ方ハト申シマス、食料鹽ト致シマシテ、大體年間百萬「トン」位ヲ從來必要トシテ居ツタノデゴザイマス、工業鹽モ、大體之ニ近イモノデ非常ニ多イ時ハ百四十萬「トン」程モ使ツタ年ガゴザイマスガ、大體百萬「トン」ノ食料鹽ト工業鹽ト、半々位ノ所消費ヲシテ參リマシテ、最近ハ工業ノ設備ガ、或ハ賠償ノ撤去トナリ、或ハ破壊セラレテ居リマスル關係デ、本年度等ニ於キマシテハ非常ニ減ツテ居リマシテ、消費ガ減ツテ居リマスノ

ミナラズ、設備ノ消化能力モ減ツテ居リマシテ、大體年間五十萬「トン」位アレバ現在ノ設備ヲ賄ヘル、工業消費ト致シマシテハサウ云フ狀況デゴザイマス、食料鹽モ百萬「トン」、昨今ハ特ニ少ウゴザイマシテ、四十六萬「トン」ノ消費デゴザイマスガ、是ハ矢張り平均百萬「トン」位ニ復活スベキモノト考ヘマス、從ツテ差當リノ問題ト致シマシテハ、五十萬「トン」位ノ工業鹽ト、百萬「トン」位ノ食料鹽デ、百五十萬「トン」位ノ消費量ヲ日途トシテ生産ヲ高メナケレバナラス、斯ウ云フヤウニナツテ居ル次第デアリマス、尙生産ノ方ハ此處ニゴザイマセヌガ、此ノ差ヲ計算致シマスルト、昭和十五年頃ガ一番多イノデゴザイマシテ、五十萬「トン」程生産シテ居ツタノデゴザイマス、逐次減リマシテ、風水害其ノ他資料ノ關係等デ逐次減リマシテ、三十八萬「トン」、四十萬「トン」ト、大體往來致シマシテ、昭和十九年ニハ三十五萬「トン」ニ減ツテ居リマス、昭和二十年ハ二十二萬一千「トン」ニナツテ居リマス、更ニ本年度ノ上期ダケノ數字デアリマスガ、約十七萬「トン」ノ生産ヲ致シテ居リマス、丁度昭和十九年程度ノ生産ニ復活ヲシテ居ル譯デアリマス、自給製鹽ノ擴張等ニ依リマシテ、年間約三十四、五萬「トン」ノ生産ニ復活ヲシテ居ルノデアリマス孰レニ致シマシテモ非常ニ微々タルモノデゴザイマシテ、之ヲ先述バタ百

五十萬「トン」ニ殖ヤスト云フコトハ非常ニ困難ナ狀況ニアルノデアリマス一應配付シマシタ鹽ノ資料ニ付テ申上ゲマス

○河端作兵衛君 礪酸ノコトニ付テ御伺ヒシタイノデスガ、礪酸ハ誠ニナクテハナラス物ト考ヘマスガ、殆ド現在ノ處、生産ガナイヤウナ狀態ニナツテ居リマスガ、是非御盡力ヲ願ヒタイ、何トカ輸入ノ途ヲ講ジテ戴カスト相成ラスト思ツテ居リマス、是非サウ云フヤウナ意味デ御努力ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(鈴木重郎君) 先程、チヨツト御説明ヲ落シマシタガ、現在矢張り輸入ノ計畫ニ入レマシテ、關係方面ト折衝中デアリマスノデ、何レ程度ノ許可ハ得ラレルコトト存ジマス

○三橋四郎次君 大藏省ノ方ガイラツシヤイマスカラ、チヨツト御伺ヒシタイノデスガ、中小商工業ト言ハズ、農業、林業ニ對シマシテ、最モ一般ニ必要セラル、自轉車トカ、「オート」三輪、「トラクタ」、又ハ地下足袋ト云フヤウナ、極ク民需向キノ物ノ國家的ノ製造狀況ガドウデアルカ、ソレカラ其ノ將來ノ生産ノ見透シハドシナモノデアルカ、是等ノ物ノ入手ハ非常ニ困難デ、配給ヲ待ツテ居タノデハ、殆ド何時ニナルカ分ラナイ、普通ノ手段デハ連モ手ニ入ラナイカラ、已ムヲ得ズ闇デ買ハニヤナラヌト云フコトニナルト自轉車ノ「タイヤ」ハ「チューブ」ト

一組デ二千圓スル、地下足袋ガ一足二
百圓スルト云フヤウナコトデハ、ナカ
ナカ手ガ出セナイノデアリマスガ、一
體、斯ウ云フ生産復興ニ關シテ、一般
ニ民需の出來ルモノデアリマセウカ
其ノ價格ノ計算ノ基礎ト云フモノハ、
勿論其ノ生産「コスト」ト云フモノヲ
計算シテ決メテアルト思フノデアリマ
スガ、最近ニナツテ値ヲ上ゲルニシマ
シテモ、從來ノ何倍ト云ツタヤウナ、
斯ウ云フヤウナ決メ方ダスト、甚
ダ是ハ意味ガナイコトト思ヒマス、物
價ガ綜合的デ、而モ「コスト」ノ基礎
計算ノ上ニ決定サレネバナラヌコトハ
普通ノ常識デアリマスガ、現在デハ、
公債ガアツテモ配給ガナケレバ何ニモ
ナラヌト思ヒマス、又物ガアツテモ、
公債ガ平氣無視セラレルト云フコト
ニナレバ、サウシテ賣ル方モ買フ方モ
ソレニ慣ラサレテシマツテ居ルト云フ
現在デハ、其處ニ價格ト云フモノガ、
全然意味ヲ成サナイコトニナツテ居ル
ソナ風デ行クト、例ヘバ俵給トカ、
手常ト云フモノヲ、幾ラ「ストライキ」
ヲヤツテ直シテモ、其ノ仕事ガ潰レテ
シマフ迄ハ止メ度ガナイト云フコトニ
ナツテシマフノデス、今中小商業ナ
リ、其ノ他農業方面ニ於テモ力強ク起
チ上ラナケレバナラヌト云フ時ニ、斯
ウ云フヤウナモノハ一體ノ位ノ値段
ガ適當デアリ、ソレヲ果シテ我々ノ手
ニ入レルコトガ出來得ルヤ否ヤト云フ
見込ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス

今朝新聞ヲ見マス、何カ「トラック」
ニ對シテハ融資ヲスルト云フヤウナコ
トガ出テ居リマシタガ、アノ融資ノ範
圍ハドノ程度迄及ブノカ、新聞デハハ
ツキリセスヤウデアリマスガ、此ノ點
モ併セテ御伺ヒシタイ

○三機四郎次君 商工關係ニ付テモ、
一ツ伺ツテ置キタイノデアリマス、小
サイ問題デアリマスガ、戰爭中ニ集メ
マシタ金屬ノ「スクラップ」ノ今尙、
其ノ邊ニ兩晒シニナツテ居ルコトヲ時
々見出スノデアリマス、ソレデオ寺カ
ラ集メタ鐘トカ燈籠ト云ツタヤウナ
モノ、又是モ僅カ殘ツテ居リマスガ、
一般ニ供出シタ銅像ト云フヤウナモノ
ハ、今ドナ風ニナツテ居ルノカ、皆
是ハ鑄造サレテシマツタノカ、若シ是
ガア、云フヤウニ手ヲ附ケズニアツタ
トシタナラバ、少シ位壞レテ居ツテモ
之ヲ元ノ持主ヘ戻スヤウナコトヲ考ヘ
テ居ラレルノカ、其ノ點ハ如何デアリ
マスカ

○政府委員(鈴木重郎君) 中小商業
方面ナリ農山村方面ノ交通機關、或ハ
小規模ノ小運送機關ト致シマシテモ、
自轉車、「リヤカー」等ノ極メテ必要ナ
コトハ、誠ニ御説ノ通りデアリマシテ
出來得ル限りノ充足ヲ圖ルヤウニ致
シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、取
敢ズ自轉車ノ現在ノ生産實情ヲ申上ゲ
マス、現在ノ處デハ、大體一箇月約
五千乃至六千臺位、自轉車ノ生産
致シテ居リマス、「リヤカー」ハソレヨ
リモ少シ上廻リマシテ、七千乃至八千
臺位ノ現在生産致シテ居リマス、我々
ノ大體ノ目標ト致シマシテハ、自轉車
等ニ付テハ、約十五萬臺位ノ生産目標
ヲ立テテ居ルノデアリマスガ、現在色
々ノ、石炭ノ關係、或ハ原材料、資材
ノ鐵等ノ色々ノ關係カラ、實際ノ生産
狀況ハ今申上ゲタヤウナ程度ニ止マツ
テ居ルノデアリマス、自轉車ノ配給ニ
付キマシテハ、此ノ八月迄ハ關係方面
ノ要求モアリマシテ、全部輸出ニ振リ
向ケテ居リマシタ關係カラ、國內向ケ
ニハ全然配給ガナカツタノデアリマス
併シナガラ今御話ノ通り國內ノ需要、
例ヘバ通信、郵便局ノ關係、又ハ水道
局ノヤウナ所、或ハ配電會社ト云ツタ

ヤウナ自轉車ノ極メテ必要ナ方面モ、
相當戰災ヲ受ケマシテ非常ニ不足ヲ致
シテ居リマシタノデ、關係方面ニモ懇
請ヲ致シ、一部國內ニモ配給スルコト
ノ承認ヲ得マシテ、八月ニ漸ク始メテ
第一回ノ國內配給ガヤツタノデゴザイ
マス、之モ極メテ僅カ一萬臺バカリデ
ゴザイマシテ、之ヲ全國各縣ニ、主ト
シテ今申上ゲマシタヤウナ郵便局ナリ
配電會社ナリ、或ハ水道關係ト云ツタ
ヤウナ、専ラ困ツテ居ラレル方面ニ取
敢ズ一部ヲ配給致シタノデアリマスガ
九月ニハモウ少シ上廻リマシテ、約四
萬臺位ノ此ノ方面ニ振リ向ケルコトヲ
大體了解ヲ得マシテ、先ヅ取敢ズ國內
ノ方ニ現在出荷ヲ致シテ居ル狀況デゴ
ザイマス、「リヤカー」ニ付キマシテハ
是又主トシテ農山村方面、或ハ中小商
業者等ノ輸送機關ニ充テルヤウニ致シ
マシテ、是モ矢張り各府縣ノ單位トシ
テ、各府縣ノ方カラ配給ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、是等ノ價格ニ付キマシ
テモ、色々御意見ガゴザイマシタガ、
矢張り色々原料ノ鐵ノ値ガ上ル、工
費ガ上ル、或ハ石炭ノ昂騰ト云フヤウ
ナコトカラ考ヘマシテ、主トシテ現在
デハ物價騰貴デアリマスガ、從來ハ大藏
省ノ物價部トモ十分御相談ヲ致シ、又
十分檢討ヲシテ戴キマシテ、現在ノ價
格ニ相成ツテ居ルノデゴザイマスガ、
今後ノ色々情勢ヲ見マスルト、現在
ノ公定價格デハ、マダ増産ヲ期待スル
コトモ、ナカノ困難ノヤウナ狀態モ

○政府委員(吉田悌二郎君) 其處ニ邊
ニ、色々「スクラップ」ガ御目ニ附
クコトト存ジマス、之ニ付キマシテハ
出來ルダケ早ク之ヲ鋼材等ニ再販延ヲ
致シマシテ、消費ニ充テルコトガ必要
ト思フノデアリマスガ、何分ニモ石炭
ガ逼迫シテ居リマスノデ、現在各地ニ
集積致シマシテ、雨晒シニナツテ居ル
ヤウナ狀況デゴザイマスガ、石炭ノ配
給サヘ餘裕ガ出來マスレバ、成ルバク
早イ機會ニ之ヲ再販延スルコトニ致シ
タイト考ヘテ居リマス、尙戰時中ニ集
メマシタ佛像、其ノ他機械類モアルノ
デアリマスガ、壞サナイデ、所有者ノ
分ツテ居リマスモノハ、終戰直後大部
分ノモノハ元ノ持主ニ御返シ出來テ居
ルカト考ヘテ居リマス、唯、早クソレ

ノカト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、モウ少シ、此處デ食糧問題ヲ科學的ニ其ノ缺乏ヲ補フト云フコトガ、此ノ際考ヘラルベキデヤナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ方面ニ當局ハドンナ御用意ガアルヤ、今ハ兎ニ角足ラヌノデアルカラ、兎ニ角滿腹感サヘ得レバ宜イト云フデセウガ、唯、今ノ場合ノヤウニ粉食デモ、唯粉ダケ分配スルト云フノデハ、隨分不深切ナ話デアル、又厚生方面カラ見テモ、隨分是ハ危險デモアリ、亂暴ダト思フノデアリマス、是ハ科學的ニ日本ノ食糧問題ヲ回復スルニハ、食事ノ轉換ト云フヤウナコトモ、片一方ニ於テ増産等ニ於テ考フベキモノダト思ヒマス、各方面ニ於テ科學性ノ缺乏ガ、我々ノ大ナル缺點ダト云フコトガ戰事中ニ見出サレ

タノデアリマス、此ノ面ニ於テモ當局ハ何等カ考慮ヲ拂ツテ居ルヤ否ヤ、其ノ點モチヨツト御伺ヒスルノデアリマス

○政府委員(補見義男君) 御答へ申上ゲマス、飛行場、其ノ他練兵場等ノ問題デアリマスガ、大體飛行場其ノ他ニ潰サレマシタノハ、十萬町歩程度デアリマスガ、之ニ付キマシテハ終戰直後聯合軍方面デ使用スルコト決定致シマシタモノ以外ハ、總テ之ヲ大藏省所管ニ移シマテ、之ヲ農耕地、或ハ一部鹽田ト云フヤウナ方面ニ振り向ケテ、其ノ中農耕地ニ向ケマシタモノニ付キマシテハ、開墾ヲ致シテ居ルノデアリ

マス、此ノ方ノ開墾ハ相當進捗致シテ
居ルノデアリマス、ト申シマスコトハ
一般ノ開拓ノヤウニ非常ニ條件ノ惡イ
所ヲ開墾スルノトハ違ヒマシテ、平地
デアリ、而モ今御話ニゴザイマシタヤ
ウニ、從來ノ田トカ、或ハ畑ヲ潰シテ、
サウ云フ方面ニ振り向ケタノデアリマ
スカラ、相當工事モヤリ易イト云フコ
トデ開墾ハ相當進捗シテ居リマス、唯
之ヲ開墾致シマスル場合ニ、飛行場ニ
致シマシタ際ニ、尤モ古イノハ別デア
リマスガ、特ニ終戦後際ニナツテ急ニ
潰シタヤウナモノモアリ、又是ハ戦争
後地元ニ戻スト云フヤウナ條件附デ飛
行場ニシタモノモ少クナイノデアリマ
ス、從ツテ斯ウ云フ面ニ付キマシテハ
地元ノ方面ニ之ヲ返還致シマシテ、地
元ノ小集團、小開墾事業トシテ、之ヲ
開墾サセテ居ルヤウナ状態デゴザイマ
ス、面積ノ小サイ演習地等ニ付キマシ
テハ、是ハ地方廳ニ其ノ處理ヲ一任致
シマシテ、方針ト致シマシテハ、只今
申上ゲマシタヤウナ方針デ以テ進ンデ
居ルノデアリマス、ソレカラ開拓問題
ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、是ハ出
來ルダケ耕地ヲ殖ヤス一面、此ノ方面
ニ對シテ國內移民ト申シマスカ、出來
ルダケ此ノ方面ニモ人口ヲ包容致スト
云フ觀點カラ致シマシテ、サウ云フヤ
ウナ要請ノ下ニ開墾計畫、開拓計畫ヲ
立テテ居リマスノデ、具體的ニハ、ナ
カノ條件トシテハ困難ナ所モ多カラ
ウト思フノデアリマス、五箇年間ニ百

五十萬町歩ヲ致スト云フ場合ニ、可墾
地ノ中デ、傾斜度ガ十五度以内ノ所ハ
總テ之ヲ人レルトカ、或ハ又猶ノ期間
ヲ見マシテ、其ノ一定ノ條件以内ノモ
ノハ人レマストカ、或ハ温度關係ヲ見
マシテ、或程度ノ温度以内ノモノハ開
墾計畫地ニ人レルト云フヤウナコトデ
前提トシテハ、先程モ申上ゲマシタヤ
ウニ、出來ルダケ多ク開墾シ、又多ク
ノ人口ヲ包容スルト云フ點カラ致シテ
居リマスノデ、開墾計畫ガ具體的ニ進
ミ、又適地ノ調査ヲ事前ニ致スコトニ
ナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ
ヤウナ關係カラ致シマシテ、又經濟事
情ノ變化ト云フヤウナモノモ考慮致シ
マシテ、其ノ進捗狀況ニ應ジテ、更ニ
檢討ヲ要スルモノモ出テ參ラウカト思
フノデアリマスガ、建前ハ今申上ゲマ
シタヤウナコトデ計畫ヲ立テテ居ルヤ
ウナ次第デアアルノデアリマス、最後ニ
食糧ノ科學的觀點カラ見タ今後ノ對策
ノ問題デアリマスガ、御承知ノヤウニ
從來ハ米麥ニ依存シテ居ツタノデアリ
マスガ、今後、此ノ狭小ナ土地デ、又
今後増加シテ參リマス人口ヲ包容シテ
行キマス上ニ於キマシテモ、從來ノ如
ク、米麥ニモ依存スルト云フコトハ
到底許サレナイノデアリマス、從ツテ
此ノ面カラ見マシテモ、今後ノ食糧問
題ハ相當大キナ問題デアルト思フノデ
アリマスガ、同時ニ榮養的ノ觀點カラ
見マシテ、從來ハ是モ御承知ノヤウニ
餘リニ澱粉質食糧ニ頼リ過ギテ居ツタ

ノデアリマス、之ヲ蛋白質食糧、或ハ脂
肪食糧ト云フヤウナモノモ、「コンビネ
ート」致シマシタ所謂綜合食糧對策ト
シテ、又科學的ニ此ノ問題ヲ取扱ツテ
參ラナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデ
アリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、私
共ノ方ノ生産面カラ申シマシレバ、水
産ノ振興、或ハ畜産ノ振興ト云フヤウ
ナコトニ今後力ヲ入レテ參リタイト思
フノデアリマスガ、更ニ全體ノ綜合的
ノ觀點カラ致シマシテ、此所ニ御見エ
ニナツテ居リマスガ、經濟安定本部ニ
於キマシテモ、特ニ此ノ問題ニ付テハ
重大ナ關係ヲ持タレ、今後此ノ問題ヲ
綜合的觀點カラシテ取扱ツテ行カウト
云フコトデ、色々今後、其ノ觀點カラ
致シマスル御研究、御檢討ヲセラル、
ヤウニ承ツテ居ルノデアリマス、大體
サウ云フ風デ進ミタイト思ツテ居ルノ
デアリマス

○三權四郎次君 序ニ農林ニ付テ、モ
ウ一ツ伺ヒマス、是ハ實業團體ノコト
デアリマスガ、戦争中ノ要求ニ依リマ
シテ、戦争前ノ歴史トカ、發達ト云フ
モノヲ無視シテ、戦争目的ノ完遂ノ爲
ニ其ノ組織ヲ變更スルト云フ處置ヲ執
ツタノハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデア
リマスガ、今終戦後ニナツテ見マスル
ト、各々元ノ姿ニ戻シ、而モ新ラシイ
今ノ時代ニ「マツチ」スルヤウニ再建
設スルコトガ當然デアリ、又斯クシテ
コソ、各々ノ持場ニ於テ、其ノ産業ノ
發展ヲ期シ得ルコトモ自明ノコトデア

リマスガ、例ヘバ戦争中ニ農業者ニ畜
産モ、蠶モ茶モ皆合同サレテシマツタ
ノデアリマス、今日ハ元ノ姿ニ復歸ス
ベキガ當然ダト思フノデアリマスガ、
先達ツテ新聞デ當局談トシテ傳ヘテ居
ルノヲ見マスルト、畜産ト蠶ハ其ノヤ
ウニセシレル、茶ハ林檎ト同様ニ、特
殊農産物トシテ取扱フガ、畜産、蠶ハ
同ジヤウニ扱ハナイト云フ風ニ見エタ
ノデアリマスガ、之ニ對シテ、ドウ云
フ考ヲ持ツテ居ルカ、茶ハ見返リ物資
トシテ、既ニ二回モ三百萬「ポンド」
輸出シテ居リ、アト五百萬「ポンド」
輸出スル度モチヤント出來テ居ルノ
デアリマシテ「アメリカ」ヨリ之ガ見
返リトシテノ食糧ヲ得ル役目ヲ勤メル
點ハ、林檎ト同一デナイノハ申ス迄モ
ナイノデアリマス、第一次歐洲戦争後
ニ於テハ、約五千萬「ポンド」モ茶ハ輸
出シタノデアリマシテ「アメリカ」ヘ
ハ三千万「ポンド」モ輸出シタノデア
リマスガ、戦争中ハソレガ已ムナキニ
至ツテ、滿洲、支那、蒙古等ニ所謂交
易品トシテ出シテ居ツタノデアリマス
ガ、サウシテ戦争中ハ、食糧増産ノ爲
ニ茶園モ工場ト同然、減反ヲ餘儀ナク
サレマシテ、其ノ栽培面積ハ約半分ニ
迄ナツタノデアリマス、ソレニ加フル
ニ、肥料、努力ノ不足ノ結果、生産額
モ戦争前ノ半分ニナツテシマツタノデア
リマス、併シソレデモ尙、八百萬「ポ
ンド」ヲ「アメリカ」ニ出シ得ルト云
フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、

更ニ増産ニ努力スレバ、之ヲ四、五年
ノ中ニハ四、五倍ニシテ昔ニ立返ラス
ト云フコトハ、必ズシモ困難デヤナイ
ノデアリマス、然ルニ現在デハ、其ノ
栽培ト新茶製造迄ハ、農業者ガ足ヲ突
ツ込シテ、輸出面ハ貿易廳ノ管轄下ニ
置カレテ居ル、ソレカラ内需方面ハ農
林省ノ支配下ニ置カレテ居ル、從ツテ
戰前一體デアツタ茶業ガ、言ヒ換ヘレ
バ茶業組合規則ニ依ツテ、栽培、貿易
又内地配給迄、一切ガ一元化サレテ、
三者相寄ツテ長イ歴史ノ下ニ發達ヲ遂
ゲテ來タモノガ、今ハ生木ヲ三ツニ割
カレルヤウニサレタノデアリマス、當
然ノ結果トシテ横ノ連絡ガ不十分ナル
ノミナラズ、相互間ニ摩擦相起テ來ス
ノモ已ムヲ得ナイ結果デアリマシテ、
實ニ此ノ苦イ經驗ヲ今當業者ハ嘗メツ
ツアルノデアリマス、ソレデアルカラ
茶ノ食糧糧ギト云フ大キナ役目ヲ完全
ニ遂行スルト云フ爲ニハ、矢張り新タ
ニ一緒ニナルデナク、唯昔ニ戻ルノデ
アリマシテ、栽培ヨリ交易、内地配給
ト、一元的ニ戰前ノ如クニ一體ニスル
ト云フコトガ、當業者全部ノ切ナル希
望デアアルノデスガ、前述ノ如ク昔ニ戻
ルトシテモ、今ノ時代ノ要求ニ應ジテ
其ノ組織ヲ現代化スルト云フコトハ、
是ハ當然デアリマス、此ノ邊ニ關シテ
當局ガドンナ風ナ御考ヲ持ツテ居リマ
スカ、此ノ際御伺ヒスルノデアリマス
○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上
ゲマス、團體ノ問題デアリマスガ、實

ハ團體制度ニ付テハ、現在檢討中デア
リマシテ、マダ結論ヲ得テ居リマセヌ
唯團體統合ノ、農業會ニ統合致シマシ
タ前ノ、各種ノ産業ニ付キマシテハ、
ソレハノ團體ガアツタコトハ、只今
御述ベニナリマシタ通りデアリマス、
又此ノソレハノ團體ニ分立致シテ居
リマシタコトガ、明治以來ノ各部門ノ
技術的ナ、或ハ經營的ナ發達部面ニ於
テ、相當大キナ功績ヲ擧ゲタコトモ事
實ナノデアリマス、併シナガラ、段々
ト其ノ發達ガ最高度ニナツテ參リマス
ルト同時に、一面ニ於テ、各種ノ團體
ガ分立致シテ居リマスル爲ニ、生産農
民ガ一人デ以テ色々ノモノノ、多イモ
ノニ付キマシテハ二十七、八ノ團體ニ
モ分屬シナケレバナラヌト云フヤウナ
極メテ非常識ナヤウナ結果ニモナツタ
ノデアリマシテ、團體統合ハ一面戰爭
ノ爲ト云フコトヨリモ、寧ロサウ云フ
ヤウナ分立シ過ギタ結果ノ弊ヲ矯メル
爲ノ意味モ、相當強ク動キマシテ、團
體統合ノ結果ニナツタノデアリマス、
從ツテ之ヲ又元ヘ戻ス、元ノヤウナ、
極メテ複雑多岐ナ團體分立ニ戻スト云
フコトニ付キマシテハ、今後ノ農業經
營ノ、特ニ世界經濟ニ入ツテ參リマス
上ニ於キマシテ、多角のニヤツテ參ラ
ナケレバ、ナカノ、將來豫想サレマ
ス農業恐慌ニ備ヘマスル上ニ於キマシ
テモ、極メテ憂慮セラル、ノデアリマ
ス、從ツテサウ云フ觀點カラ、特ニ一
ツノ部門ニ重點ヲ置イテ見ルト云フヨ

リモ、サウ云フ觀點カラ團體ノ問題ヲ
考慮シナケレバナラヌノデハナイカ、
斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從
ツテ斯ウ云フ意味デ、團體ノ問題ニ付
キマシテハ、今後ノ農業經營ノ在リ方
ト云フヤウナモノモ頭ニ置イテ考ヘナ
ケレバナラナイト存ジマシテ、折角檢
討ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマ
ス、唯サウ云フ場合ニ於キマシテモ、技
術的ノ問題等ニ付キマシテハ、或程度
分化シタ指導ト云フヤウナコトモ、或
ハ必要ニナツテ來ルカトモ思フノデア
リマスルガ、又只今御述ベニナリマシ
タ意味モ、サウ云フ觀點カラノ御意見
デアツタヤウニ思フノデアリマシテ、
斯ウ云フモノヲドウ云フ風ニ團體制度
ト嚙ミ合セルカト云フコトニ付キマシ
テモ、全體ノ團體ノ整備ノ問題、或ハ
復元ノ問題ニ關聯致シマシテ、十分考
慮シテ、慎重ニヤツテ參リタイ、斯様
ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス
○三橋四郎次君 今ノ實業團體ノ問題
ニ付テハ、是カラ先ハ議論ニナリマス
ガ、要スルニ末端ニ於テ色々ニナルト
云フコトノ弊害ハ、是ハモウ實際デア
リマス、併シ今私が申上ゲタヤウニ、
指導面ガ全然違ツテシマツテ、横ノ連
絡ガ法的ニナイ、斯ウ行ツタナラバ、
更ニ其ノ業ト云フモノノ發達ハ期セラ
レナイ、ソレデスカラ私ハ前ニ戻ルガ
今現在ノ要求ニ如何ニ「マツチ」セシ
ムルカト云フコトノ組織問題ニ付テハ
是ハ別ニ考ヘナケレバナラヌ、要スル

ニ考ヘ方トシテハ、モノヲバツム「ギ
スルト」云フヤウナコトガアツテハナラ
ナイ、例ヘバ集荷ノ面ハ農業會ガスル
ソレカラ集メタ物ヲ、今度ハ茶デ云フ
ナラバ、輸出會社ガ貿易廳ノ代行機關
トシテ之ヲ集メルト云フヤウナ時ニ、
集メル面ト、ソレカラ之ヲ再製シテ外
部ニ出ス面トガウマク行カナイト、適
品ヲ手ニ入レルト云フコトニ困ツテ居
ルノガ現在デアル、況ヤ又、斯ウ云フ
適品ヲ栽培スルト云フコトハ又別ニナ
ル、斯ウ云ツタ點ガドウシテモイカス
ノデアリマス、ソコデドウシテ之ヲ一
元的ニ、上カラ下マデ行クヤウニシタ
ラ宜イカト云フ技術的ノコトハ、是ハ
勿論考ヘナケレバナラヌ、是以上ノコ
トハ、又他ノ場合ニ於テ議論スル場合
ガアラウト思ヒマスカラ、今日ハ少シ
ハハ縁ガ遠イヤウデアリマスカラ、此
ノ程度ニシテ置キマス、ソコデ農林ノ
問題ハ終リマスガ、大藏省ノ鹽ノ問題
ヲ、今チヨット伺ツテモ宜シウゴザイ
マスカ
○政府委員(吉田徳二郎君) 至急連絡
致シマス
○三橋四郎次君 ソレデハ御見エニナ
リマス迄、私ハ質問ヲ保留シテ置キマ
ス
○長岡半太郎君 只今「ラジオ・バル
ブ」ニ關スル御答辯ヲ得マシテ、大分
安心スル所ガアリマシタガ、戰時中、
澤山ノ「バルブ」ガ要ルノデ、是ハド
ウシテモ自動裝置ヲ用ヒテ造ラナケレ

バ、此ノ需要ニ應ジ兼ナルト云フコト
ヲ屢々當局者ニ御話シタノデゴザイ
マスケレドモ、ドウモ日本ノヤウナ、
手ノ先ノ器用ナ人間ノ澤山居ル所ニ自
動裝置ナドト云フモノヲ作ルト、失業
者モ出來ル、又餘リ澤山推ヘラレルト
「ストツク」ニ澤山人ツテ、在庫品ガ
餘計出來テ始末ニ困ルカランシテ、我々
ノ會社デハ自動裝置ト云フモノハ成ル
ベク造フスコトニシテ居ルト云フ辯明
ヲ得タノデゴザイマスケレドモ、今日
デハナカノ「勞銀ガ高イモノデスカラ
道ノ傾向ヲ帶ビテ來マシタ、アイザア
ンホー」ノ「オートマテイツク・マシ
ン」ヲ使フト云フコトヲ御話ニナツ
タノデ、非常ニ安心シタ次第デアリマ
ス、其ノ他ニ於キマシテモ、私ハ斯様
ナ「ウエー」ノ「高イ時代ニナリマス
レバ、ドウシテモ自動裝置ヲ使ツテ、
均一ナ、自動裝置ヲ使ヒマス、部分
品ハ總テ均一性ヲ帶ビマスカラシテ、
ソレニ依ツテ作ルコトガ、今日良イ機
械、裝置等ヲ造ルニ必要ダト思ヒマス
其ノ代リ失業者ハ出ルカモ知レマセヌ
ガ、是デハ安心ハ致シマシタガ、倍、
其ノ部分品トシテ使フ「マイカー」ノ
如キモノ、是ハドウモ「インド」産、
或ハ「アフリカ」産ノ「マイカー」デ
ナイトイカヌヤウデアリマス、成ルベ
ク良イ品ヲ御取寄セニナツテ、良イ
「バルブ」ヲ造リ、長クソレヲ持タセ
均一性ヲ保タセルト云フコトニ努力ヲ
願ヒタイト思フノデゴザイマス、次ニ

申上ゲタイノハ検査デゴザイマス、檢
査ハ日本ノ程杜撰ナ検査ヲヤル所ハナ
イノデス、是ハ何處ニ行ツテ見マシテ
モ、検査ト云フコトニ非常ニ力ヲ入
レテ居ルノデアリマスルケレドモ、日本
人ハ放ツタラカシニシテ居ルノガ多ク
ゴザイマスガ、「ラジオ・バルブ」ノ如
キハ最も検査ヲ要スルモノト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、ソレデ其ノ検査ノ方
法等ニ於テハ、特ニマダ研究スベキ餘
地ガアルト思ヒマス、石炭々々ト云フ
御話ガアリマシタガ、此ノ石炭ハ恐ラ
ク「ヴァブ」ノ外裝ニ使フ硝子ヲ推ヘ
ル石炭デアラウ、硝子ヲ溶カスニハ
「ウオーター・ガス」ヲ使ツテ居ルノ
デアリマスカラ又石炭ヲ要シ、又硝子
ノ材料トシテ特殊ノ砂ヲ使ハナケレバ
ナラヌ、其ノ特殊ノ砂ナルモノガ此ノ
近所ニアル砂デ宜イカ、ソレトモ安南
アタリカラ良イ砂ヲ取フナケレバナラ
スカ、是モ又問題デアリマスガ、大分
研究ヲ要スルコトデアラウト考ヘルノ
デアリマス、ソレカラモウ一ツ、此ノ
前申上ゲナカッタノハ、放送協會ノ使
ツテ居ル録音盤デゴザイマスガ、是ガ
又恐シク悪い、其ノ録音盤ノ中ニ使フ
「シエラツク」、「シエラツク」ハ殆ド
「インド」獨占ノ産物デアツテ、是ガ
戰時中來ナカッタ爲デアリマスカ知レ
マセヌガ、録音盤ニ人ツタ話ヲ聴キマ
スルト、アノ人ノ話ニシテハ聲ガマル
デ違フガ嘘デヤナイカト大概ノ人ハ考
ヘル、中ヘ行ツテ調べテ見ルト其ノ

「シエラツク」トマダ外ニ蠟ヤ何カ要
リマスルガ、ソレ等ノモノノ不足シテ
居ル、或ハ老朽シテ居ル爲デアルト思
ヒマス、「アメリカ」人ニ言ハセルト
日本ノ「ラジオ」ハマダ「ラジオ」デ
ナイ、「アメリカ」アタリデコンナモノ
ヲヤツタラバ誰モ聴ク人ハナイガト云
フヤウナ批評ヲシテ居ルノモ、斯ウ云
フヤウナ所ニ、マルデ其ノ録音盤ニ載
ツタ人ノ聲ト云フモノガ、不聞ニ聞エ
ル聲ト違ツテ居ルコトハ、是ハ早ク是
正シナケレバナラヌコト考ヘルノデ
アリマス、是ガ「バルブ」ニ關スル私
ノ心附イタ點デゴザイマス、次イデ礮
酸ノコトヲチヨット御話シ致シマシタ
ガ、礮酸ノ必要ナルコトハ戰前カラヤ
カマシク言ツテ居ルノハ、私ハ寧ロ其
ノ鋼鐵ニ人レルトカ、或ハ銅ノ中ノ酸
化シタモノヲ除クトカ、所謂「ボロレ
ナイズド・カツバー」ヲ拵ヘルトカ云
フヤウニ専ラ申上ゲタノデナク、礮酸
ノ必要ナルコトハ、今日化學製造ニ使
フ硝子ノ器デ、ドウモ從來ノ硝子器デ
ハ、中ノ硝子ガ溶ケル、水ヲ入レマシ
テモ日本ノ粗製ノ硝子ニナリマスルト
云フト、硝子ガ溶ケテ來ル、ソレハ
「スペクトル」分析ヲ致シマス、ド
シナ硝子ヲ使ツテ見テモ日本製ノハ近
頃ハ砒素ガ溶ケテ來ル、即チ「シリコ
ン」ガ入ツテ居ルコトガ分ルノデアリ
マシテ、即チ硝子ガ水ニ溶ケル、全ク
溶ケナイ硝子ト云フモノヲ得ヨウトシ
テモ到底得ラレナイコトデゴザイマス

ケレドモ、特別ナ精練ヲ要スルモノニ
於テハ、此ノ「バイレックス」硝子、
「アメリカ」デ發達シタモノデゴザイ
マスガ、日本デモソレノ擬イノモノガ
出來テ居リマス、「バイレックス」硝子
ニ礮酸ヲ使フノデアリマシテ、光學硝
子ノ「ボロシリケート」ト云フ特殊ノ
「レンズ」ヲ使フ双眼鏡類ニ人用デ、
多量ノ礮酸ガ入ツテ居リマス、其ノ用
ニ供スルノト、専ラ是カラ使ハレルト
思フノハ、「バイレックス」硝子ガ使ハ
レルト思ヒマス、是ハ一番餘計ニ使ハ
レル分デアリマシテ、戰前ニハ陸海軍
ノ人ニドウシテモ礮酸ガナクナルト云
フト、光學硝子ガ出來マセヌカラシテ
之ヲ早ク多量ニ買ツテ貯ヘテ置キナサ
イト言ヒマシタガ、ドウシテモ是ハ會
計上不可能デアル、サウ云フモノヲ貯
藏スルコトガ不可能デアルト云フコト
ヲ遂ニ其ノ説ハ容レラレナカッタノデ
アリマス、「ドイツイ」ニ於テモ、第一回
戰爭ノ時ニ礮酸ガナイト云フノデ、非
常ナ苦シミヲシタサウデアリマス、私
ガチヨット其ノコトヲ「ドイツイ」ニ行
ツテ話シマシタ處ガ、我々ノ秘密ニシ
タコトヲ君ガドウ云フノダト云フノデ
我々ダツテ困ルノダ、ソレデヤカマン
ク言ツテ居リマス、貯藏スルト云フコ
トガ會計法上不都合デアツテ貯藏ガ出
來ナイカラ、何カ代用品デモアルカト
云ツテ、私ハ聴イタノデアリマスガ、
ソレニハ實ニ困ツタ、第一回ノ戰爭ノ
時ニ殆ドナクナツテシマツタ、此ノ礮

酸ガ色々外ニ普通ニ家庭ニ於テモ使フ
用ガアリマスルガ、不幸ニシテ我が國
ニハ、マア深程ノモノガアリマスルケ
レドモ、「アメリカ」ニ行クト、湖全體
ニ礮砂ガ出來テ居ル、湖ノ底、底ト云
フ程デアリマセヌガ、殆ド干上ツタ湖
ニ礮砂ガアリマス、掘リ出ス賃金ガ幾
ラト云フコトデアリマスガ、價格カラ
言ヘバ到底競争シ得ナイモノデアリマ
ス、此ノ礮酸ヲ得ルト云フコトハドウ
シテモ必要デアルト思フノデアリマス
ソレガ今日幾デカ解決シタノハ誠ニ喜
バシイコトト考ヘマスルガ、此ノ需給
品ヲ色々考ヘテ見マスルト、或ハ斯ウ
云フ品物ガ落チテ居ハシナイカト思ヒ
マスガ、御調ニナツテ居ルト思ヒマス
ケレドモ、申上ゲテ置キタイト思フノ
ハ、只今ノ「シエラツク」モアリマス
ルガ、機械工業等ニ於テ段々發達シテ
來タ機械ニ使フモノデ、本邦ニ於テ少
量ハ得ラレケレドモ、殆ド需要ニ應
ジ難キ程ノ分量デアツテ困ルモノガ
アリマス、ソレハ「バナジウム」デア
リマシテ、是ハ礮鐵ニ少量入ツテ居リ
マスルガ、切羽詰ツタ時ニ經費ヲ構ハ
ズシテ抽出スレバ得ラレルト云フヤウ
ナ少量デアリマス、ソレカラ「コバル
ト」是モ少量ハアリマスルガ、到底
「カナダ」ニ於ケルヤウニ多量ニハ得
ラレナイ、「ニッケル」、「ニッケル」ハ
多少アリマス、「セリウム」是ハ映畫用
ノ「カーボン」ニ使ハレルモノデアリ
マシテ、「トシ」半位戰時中使ツテ

居ツタヤウナ按配デアリマス、原料ハ
朝鮮ニ可ナリアリマス、光電管ニ使ヒ
マスル「セシウム」是ハ日本ニモアリ
マスルガ、是モマア、是ハ割合ニアル
カト思ヒマスケレドモ、此ノ抽出法ガ
色々方法ガアリマシテ、如何ナモノデ
アリマスルカ、ソレカラ金屬ヲ溶カシ
マスル時ニ、例ヘバ鐵デ申セバ、湯ヲ
流ス時ドノ溫度ニ於テ流スカト云フ時
ニ使ヒマスル白金「ロージウム」ノ
「サーモジャンクシオン」ヲ使ヒマス
之ノ原料ガ必要デアリマス、多少ハ北
海道カラ出マスカラ、或ハソレデ間ニ
合フカモ知レマセヌケレドモ、ドウモ
不十分デハナイカト思ヒマス、「イリジ
ニウム」是ハ萬年筆ノ先ニ使フ、ソレ
カラドウシテモナクテ困ツテ居ルノハ
「ダイヤモンド・サンド」デアリマス
厚イ硝子ヲ切ルト云フヤウナ場合、例
ヘバ光學機械ヲ作ル時ニ使フヤウナ
「ダイヤモンド・サンド」ソレカラ電
球ノ「タンダステン」ヲ引クニ使フヤ
ウナ「ダイヤモンド」ノ「ダイス」、針
金ヲ小サナ穴ヲ拵ヘテ其處カラ引張リ
出ス、ドウシテモ「ダイヤモンド」デ
ナイトイケマセヌ、「ウイヂヤ」ナドト
云フモノガアリマスケレドモ、是ハ銅
線ヲ引クヤウナ時ハ宜イガ、「ダイヤモ
ンド」ノ「ダイス」デナイト「ミリ
メートル」ノ何分ノ一ト云フヤウナ小
サナモノハ引張り出セナイノデアリマ
ス、是ハ原料ハ「ボルネオ」カラ專ラ
來ル、「ボルネオ」ノ黒イ「ダイヤモン

ド」、裝飾ニナラナイ「ダイヤモンド」
デアリマス、ソレデナイト普通ノ裝飾
用ノモノハ軟クテ、「ダイス」ニハ宜シ
クアリマセヌ、斯ウ云フ種類ノモノガ
マダ幾ラモ落チテ居ハシナイカト思ヒ
マスルガ、特ニドウシテモナクテ困ツ
テ居ルト云フモノハ、斯ウ云フヤウナ
モノデアリマス、マア是ガ今私ガ氣ガ
附イタ機械工業等ニ於テ必要ナルモノ
デアルト思ヒマス、私ガ今茲ニ述ベル
必要ハナイト思ヒマスルケレドモ、民
衆ガ今困ツテ居ルノハ、石鹼ノ不足デ
アリマスルガ、「コブラ」ト云フモノハ
何時コチラニ輸入サレルノデアルカ、
「コブラ」ノ不足デ石鹼ノ需要ガ滿タ
サレテ居ラヌノデヤナイカト、密カニ
考ヘル次第デアリマスルガ、是ハチヨ
ット御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(吉田徳二郎君) 只今御述
ベニナリマシタ品物ノ中デ「バナジウ
ム」礮石ガ輸入計畫ノ中ニ入ツテ居リ
マシテ、只今輸入懇請中デゴザイマ
ス、其ノ他ノ「ダイヤモンド」、「コバ
ルト」等ハマダ多少「ストツク」モゴ
ザイマス關係モアリマシテ、今回ノ輸
入計畫ノ中ニハ入ツテ居ラヌノデゴザ
イマス、遂次是ハ輸入計畫ニ入レテ
行クベキモノト考ヘテ居リマス、尙
「コバルト」ノ方ハ日下輸入懇請中ノ
品ニ入ツテ居リマシテ、成ルベク早イ
機會ニ相當ノ量ヲ輸入シテ戴キタイト
考ヘマシテ、「ジー・エツチ、ギュー」
ノ方ニ懇請致シテ居ル次第デゴザイマ

ス
○委員長(男爵古市六三君) 陸國務相
ガオイデニナツテ居ルノデスガ、成ル
ベク陸國務相ニ御尋ニオアリノ方ノ御
質問ヲ願ヒタイと思ヒマス

○川上嘉市君 私ノモ一部關係スルノ
デ、其ノ關係ノコトカラ申上ゲマス、
今國民經濟ヲ救フ上ニ最も必要ナコト
ハ、結局ハ食糧問題ノ解決デハナイカ
ト思フテ居リマス、是サヘ落チ著ケ
バ、最近問題ニナツタ「ジエネスト」
ノヤウナ問題モ、或程度迄防ゲマス、
又假令今ノ儘デ若シズツト勞銀ノ上
ゲ、且働ク時間ヲ少クシヨウト云フヤ
ウナ「ネガティブ」ノ方ノ方法デ何處
迄モ進ンデ参リマス、結局ハ澤山取
ツテモ物ガ足りナイト云フト、「インフ
レ」ヲ益々助長スル、斯ウ云フ風ナ傾向
ニナルモノト考ヘマス、ソコデ食糧品
ガドレダケ足りヌカト云フ風ナ問題ニ
ナリマス、結局私ハ日本ニ食糧問題
ナシト、或所デ話シタコトガアルノデ
スガ、實際ニ生鮮食糧品ト云フモノハ、
多少ノ難詰ノヤウナモノハ外國カラ参
リマスケレドモ、殆ど是ハ問題デアリ
マセヌデ、皆内地デ出來ルモノヲ融通
スレバ手ニ入ル、手ニ入ルケレドモ、
唯輸入途ガ非常ニ廻リ遠クテ、骨ガ折
レテ、サウシテ値段ガ公定ノ何倍、時
トシテハ十倍、十數倍ニナツテ入ルト
云フダケノコトデアリマシテ、實際ノ
量トシテハ、兎ニ角内地産ノ生鮮食糧
品ダケデ以テ、日本人ガ食ツテ行ケル

ノデアリマス、サウ云フ意味カラ言フ
ト、生鮮食糧品ニ關スル限りハ日本ニ
問題ナシ、唯ソレヲ配給シ、或ハ分
配スル其ノ方法ニ非常ニ不完全ナ點ガ
アル爲ニ困ツテ居ルト云フコトニナル
ト思ヒマス、ソレカラ又、主食糧デア
リマスガ、此ノ方モ本當ヲ言フト、マ
ア感々困ツテ無イト云フ時ニハ、「アメ
リカ」進駐軍ノ方デ何トカシテ呉レル
是ハ勿論私ハ或點ニ於テ、サウシテ吳
レルベキ義務ガアルノデヤナイカト考
ヘマス、ト云フノハ、日本ハ今自分
デ以テ輸入スルコトハ出來マセヌ、全
部ノ輸入ヲ其ノ手ニ頼ル外ハナイノデ
アリマスカラ、若シ日本人ヲ多量ニ飢
エシムルト云フヤウナコトニナルト、是
ハ人道問題デアリマス、日本人ガ非常
ニ懶ケテ居ツテ自分ノ義務ヲ盡サヌデ
持ツテ來テ呉レト云フト、無論受ケ容
レラレナイノデアリマスガ、併シナガ
ラ全力ヲ盡シテ居ルケレドモ、ソレデ
モ足りヌト云フ時ニ日本人ガ多量飢エ
ルト云フコトハ考ヘラレナイ、サウ云
フ點カラ考ヘルト、主食糧ニ於テモ本
當ハ問題ハナイ筈ナノデアリマスガ、
ソレガ實際ニ於テ此ノヤウナ混亂ヲ來
ス所以ハ何カト申シマス、結局其處
ニ配給トカ、其ノ外ノ色々ナ點ニ非常
ニマヅイ點ガアル、其ノ爲ニ國民ガ瘡
痍ノ苦シミニアルト云フノガ現状デハ
ナイカト思ヒマス、ソレデ今迄ノ食糧
品ニ對スル農林當局ノ或ハ國全體トシ
テノ對策ト云フモノガ、非常ニ片手落

チデアルト云フヤウナ感シガルノスデ
ス、ソレハドウ云フコトカト言ヒマス
ト、生産者ノ方ニ餘リニ重キヲ置キ過
ギテ、消費者ト云フモノニ對スル同情
ガ少クハナカツタカト云フ感シガ私ハ
スルノデアリマス、何時ノ場合ニモ、
農民或ハ農山漁村ノ生産意欲ト云フコ
トガ非常ニ能ク言ハレルノデアリマス
處ガ、其ノ外ノ方ノ消費者ノ側ニ對ス
ル思ヒヤリガ誠ニ少イヤウナ、少クト
モ結果ニ表レタ所デハ非常ニ少イ、最
近ニ於ケル供出ノ割當ナンカモサウデ
アリマスガ、見テ居ルト、初メノ中ハ
今年ノ秋ハ非常ニ豐作デアリヤウニ言
ハレテ居リマシタ處ガ、最近ニナツテ
最後ノ締メ括リヲ見ルト、新聞ニ發表
サレタ所ニ依ルト、不良ト言フ、作柄
不良ダト云フヤウナ報告ガ可ナリアル
ソレデ實際ニ於テ或縣ノ知事ナンカメ
話デ見ルト、今年ノ供出ハ四千萬石位
ハ出來ルダラウ、本當ニ公平ニ行ケバ
四千萬石位ハ出來ルダラウ、ソレガ二
千七、八百萬石ト云フ程度デ行ツテ、
而モ不作ト云フ報告ガ非常ニ多イト云
フ理由ガ、我々ニハチヨツト解セナイ
ノデアリマス、或ハ其處ニ消費者ニ對
スル思ヒヤリトカ、或ハ生産意欲ト云
フコトヲ餘リニ重キヲ置キ過ギルガ爲
ニ、農山漁村ガ三千五百萬人ガアル
ト、残りノ四千五百萬ニ對スル、其ノ
方ニ對スル思ヒヤリガ非常ニ少イノデ
ヤナイカト云フヤウナ感シヲ持つノデ
アリマス、ソコデ此ノ公定値段ヲ決メ

ルソレ自身ガ、實ヲ言フト、私共可ナ
リ今迄高過ギタト思ヒマス、其ノ場合
ニ、何時デモ高イ方ガ標準ニナツテ、
同ジ作物ノ中デコツチニ比ベテコツチ
ハ安過ギルカラシテ、其ノ高イ方ニ準
ツテ、右ヘ準ヘデ以テ唯上ゲテ來ルノ
ガアリマシテ、是ハ前内閣ノ時デアリ
マシタケレドモ、私ハ大藏省ヘ出カケ
テ行ツテ話シタコトガアル、丁度オ茶
ノ公定値段ガ決メラレタ時デスガ、昨
年ニ比ベテ、六倍ニ決メラレタ、是ハ
餘リニ上リ過ギルデヤナイカ、一體原
價ガドウ位上ツタノカ、オ茶ノ畑ハオ
茶ノ木ガ一本モ去年ト比ベテ殖エタコ
トガナイ……、一昨年デアリマス、ソ
レハ去年ノ話デスカラ、又非常ニ配給
モアルシ、サウ上ツテ居ル筈モナイノ
デアリマシテ、又勞銀ハト云フト、皆
家族ノ手デアツテ、ソレモ上ツテ居ラ
ナイ、ニモ拘ラズ、一躍六倍ダ、我々
工業家ノ製品ハ一割上ゲテ呉レ、バ結
構ト思フ、斯ウ云フ場合ニ、其ノ六十
割ノ高率ニ上ゲルト云フコトハアリ得
ナイコトダト申シマシタ處ガ、其ノ時
ニ次官ノ答辯ハ、物價局ガマダコツチ
ニ移ツタバカリデ、自分ノ方デハ素人
デ能ク分ラヌ、農林省ノ附箋ヲ其ノ儘
決メタノダト言ツテ、私ニ陳謝シテ居
ラレマシタ、サウ云フ時ニ、ドウモ今
迄ノ農林當局ノ見解ガ、唯農林省ノ關
係ダケノコトヲ基準ニシテ、其ノ結果
ガ他ニ如何ニ及ブカト云フコトニ付テ
ノ考慮ガ少シ足りナカツタノデナイカ

ト云フヤウナ感シガスルノデアリマス
ソレニシテモ、假令○デ私共ガ、本當
ニ皆手ニ入ルナラバマダ我慢シ得ルト
思ヒマス、處ガ、ナカノ人ラス、人
ラヌト云フノハ、例ヘバ諸デアリマス
ガ、昨日私ハコチラニ居リマス自分ノ
子供ノ家デ、諸ヲ賣リニ來テ買ヒマシ
タ、諸ハ一貫目三十五圓、○ガ四圓デ
ス、濱松邊デ十圓乃至十二圓、ソレガ
コツチヘ來テ三十五圓、サウ云フノデ
買ハナケレバナラス、ソレガ現實デア
ルトスレバ、我々ハ唯○ガ出來タト云
フ看板ヲ掛ケタカラト云ツテ、看板ニ
安心シテ居ルコトガ出來ナイ、事實ソ
レデスカラ、政治ト云フモノハ、コツ
チデ以テ或「プラン」ヲ作り、サウシ
テ好イ看板ヲ掛ケテ、綺麗ナ看板ヲ掛
ケテ居ルカラシテ、ソレデ國民ガ其ノ
恩惠ニ浴スルカト、斯ウ申シマス、
實際ニソレヲ實行サシテ貰ハヌト、我
々ハ一向ニ其ノ有難味ニ浴スルコトガ
出來ナイ、左様ナ狀態デアルノデス、
ソコデ一體、食糧品ノ全部ガ本當ニ○
デ來ルヤウニナレバ、恐ラクハ勞働爭
議モ起ラナクナルダラウシ、又色々ナ
問題ガズツトスラノト解決シテ行ク
ヤウニ考ヘラレルノデスガ、ソレデ其
ノ○ヲ何處迄モ維持シテ行クト云フ方
法、ドウ云フ風ナ構想デ以テ、ソレヲ
維持サレマスカ、又ソレヲ維持スルダ
ケノ確信ガアレルカ、其ノ點ニ付テ
チヨツト御伺ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(藤桂之助君) 結局食糧品

ノ價格ヲ如何ニ定メルカ、又此ノ配給ヲ如何ニ合理化スルカト云フ問題デゴザイマスガ、有様ニ申セバ、ナカノ政府ガ終戦後色々計畫シタ食糧ノ配給計畫、又價格政策モ、必ズシモ成功シタトハ申上ゲラレナイト云フコトハ事實デアリマス、結局何ト申シマシテモ主要食糧品ノ不足ト云フコト、ソレカラ此ノ不足感ニ驅ラレマスル買漁リト云フヤウナコトガ、總テノ配給ノ系統ヲ案シ、又價格ノ不當ナ閣相場ガ現出スルト云フヤウナコトナノデアリマスカ、ナカノ此ノ混沌タル經濟界ノ狀況カラ見マシテ、私、物價應ヲ御預リシテ居ル譯デアリマスケレドモ、唯一ツノ一聯ノ政策、之ニ依ツテ總テノモノガ立チ直ルト云フヤウナ起死回生の妙策ハナイト思ヒマス、要スルニ此ノ根本ハ、今ノ經濟ノ混亂、將來ニ對スル不安、斯ウ云フ面ヲ一掃シナケレバ物が安定シナイノダト存ジテ居リマス物價其ノモノニ付キマシテハ、過般モ本會議デモ申上ゲマシタヤウニ、兎ニ角私共ノ考トシテハ、物價ヲ強ヒテ下ゲルト云フヨリモ、一ツノ安定シタ物價ヲ作ル、之ニ依ツテ物資ノ出廻リモ殖エテ參リマスシ、閣ノ取引モ根柢シテ參ル方ニ一歩ヲ進メテ參ル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ主要食糧ニ付キマシテノ供出ノ問題、ソレカラ生鮮食糧品ノ配給ノ問題、實ハ川上委員ノ御所説ノヤウニ、現在甚ダウマク行ツテ居リマセヌ、農林省ニ於キマ

シテモ、之ガ爲ニ各關係團體ト折角一生懸命ニナツテ居ルコトハ事實デアリマスケレドモ、又思フヤウニナラヌコトモ事實デアリマス、安定本部ニ於キマシテハ、此ノ國民ノ食糧問題、是ガ經濟安定、國民生活ノ安定ノ中核問題ダト云フ考カラ、此處ニ第三部ト云フノガアリマス、是ハ主トシテ、今、川上君ノ仰セラレタヤウナ問題ノ矛盾ヲバ解決スル根本策ノ研究機關デ、是ガ物價應ト相俟チマシテ、其ノ方面ニ折角努力シタイト存ジテ居ルノデアリマスカ、併シ是ガ立チ直ル確信ガアルカト云フ御尋ニ對シマシテハ、兎モ本年ノ米穀ノ豐作、之ニ依ツテ國民ガ徒ニ食糧ノ不足ニ焦慮スルト云フ考ガナクナル程度ノ配給ガ出來ル見込ダ居ルノデアリマス、唯配給數量ノ問題等ニ付キマシテハ、外國カラ矢張り輸入シナケレバナリマセヌ、不足物資ノ輸入トモ微妙ノ關係ガアリマスノデ、モウ少シ經テマセヌト、本當ニ國民ノ安心スルガ如キ主要食糧品、其ノ他ノ配給ノ目標ヲ公ニスルコトモ、マダ色々數量ノ計算其ノ他ノ關係カラ見込ガ附キ兼ネルト思ヒマスケレドモ、之ヲ要シマスルニ、今後主要食糧ノ供給ノ確保、是ハ確カニ出來ル見込ダ居リマス、之ヲ中心ニ致シマシテ、物價其ノ他ニ付キマシテモ、從來ト違ヒ、或一定ノ目標ニ基テ政策ガ漸次行ハレ得ルト考ヘテ居ル譯デアリマス、尙其ノ他、色々ノ物資ノ需給ノ問題ニ付キマシテ、足リ

ナイ所ハソレトモ、又政府委員カラ補足シテ申上ゲサセテ戴キマス
○政府委員(補見難男) 只今御話ノ中ニ、農林省ハ農村ノコトノミヲ考ヘテ都市ノコトニ對シテ考ヘ方ガ足リナイノデハナイカト云フヤウナ意味ノ御尋ガアツタと思フノデアリマスガ、實ハ私共ト致シマシテハ、サウ云フヤウナ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、寧ろ農家カラ申シマス、我々ノ生活必需品、或ハ生産ニ關シテ、必要ナ物資ニ付テ強權ヲ發動セズニ、農家ノ食糧ダケヲ強權ヲ發動シテ持ツテ行クデハナイカト云フヤウナ非難ヲ受ケル位ニ迄致シマシテ、御説ノヤウナ強權措置ヲ講ジテ、食糧ヲ集メテ居ルノデゴザイマシテ、又出來ルダケ國內ノ食糧ヲ手ニ入レマスル爲ニ、昨年ノ末カラ今年ニ掛ケテ御承知ノヤウニ各縣軒竝ニ赤字撥出ト云フヤウナコトデ出シタ縣ガ實ハ端境期ニ非常ニ困ルト云フヤウナコトモ敢テ覺悟ノ上デ致シテ居ルノデゴザイマス、サウ云フ風ニ致シマシテ、單リ農家ノ立場ト云フコトノミ拘泥セズ、出來ルダケ廣ク國民全般ノ食糧問題ヲドウスルカト云フコトヲ苦慮致シテ居リマスノデ、此ノコトハ御了承ヲ願ヘルト思フノデアリマス、唯配給其ノ他ノ問題ニ付テハ、矢張り御話モゴザイマシタヤウニ、尙拙イト云フ所モアラウカト思ヒマス、從ツテ此ノ改善ト云フ方面ニ付キマシテ色々工夫ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌト云フヤウ

ニ考ヘテ、折角此ノ方向ニ進ンデ參リタイト存ズルノデアリマス、ソレカラ食糧ノ價格ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ今、膳國務大臣カラ御話ガアリマシタヤウニ、結局不足感ト云フコトガ之ニ對シテ非常ニ大キナ因子ヲ成シテ居ル、同時ニソレガ因トナリ或ハ果トナツテ、結局供出自體ニ對シテ、少カラヌ影響ヲ持ツテ惡循環ヲ致シテ居ルヤウニ存ズルノデアリマシテ、其ノ根源ヲ斷ツコトガ必要デアルト云フコトハ、只今大臣カラモ御説明ヲサレマシタヤウニ私共モ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ方向デ、今後トモ進ンデ參リタイト努力致シテ居ル次第デアリマス
○川上嘉市君 此ノ對策ニ付キマシテ實ハチヨツト私ノ思ヒ著キガアルノデマスガ、ソレヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、今議會デ、農林大臣ノ御答辯ニナツタ供出其ノ他ニ付テ民主的ノ方法ヲヤル、例ヘバ農業會、其ノ外生産者ノ自治的ニヤル、ソレヲ民主的ダト言ツテ居ラレルヤウデマスガ、私ハソレハ自治的デアツテ民主的デハナイト考ヘマス、民主的デアルト云フノハ、要スルニ國民全體ノ輿論ニ關フヤウニ行クコトデアリマスガ、茲ニ獨リ消費者ト云フモノガ忘レラレテ居ルハ、是ハ民主的ト云フコトハ逆ダト考ヘテ居リマスソレカラ供出ヲスルコトニ付テ、今實際ニ委員ニナツテ居ル人ノ話ヲ聴イテ見テモ、生産者自身ハ非常ニ生産者ノ

利益ハバカリヲ主張シテ、出來ルダケ少ク出サウトシテ居ルコトガ實情ダラウト考ヘマスガ、消費者ノ利益ト云フモノガ忘レラレテ居ルヤウナ感ジガアルノデアリマス、ソコデ自分ノ考ヘマシタノハ、農業會、或ハ其ノ外、色々ノ農山漁村ノ所謂集荷機關ダトカ、配給機關トカ、或ハ營團、其ノ外ニ消費者ト云フモノノ代表ヲ入レテ、丁度労働委員會ニ司法省側ト組合ノ委員ト、ソレカラ中立ノ委員トアルヤウニ、ソレ等ヲ皆入レテ、ソレニ依ツテ納得ノ行ク所迄ヤル、サウシテソレ以外ノ機關ヲ通ジテハ絕對ニ出サナイ、斯ウ云フ風ニシテ見タラドウダラウカト思フノデアリマス、詰リ閣ノ取引ガ出來ルト云フコトハ、ソレハ剩リガアルカラ出來ルノデアツテ、剩リノナイヤウニスル剩ツタモノハ自分デ處分シテモ宜シ、出ストスレバ必ズ其ノ機關ヲ通ジテヤルト云フコトニシナケレバナラヌ、其ノ代リ割當以上供出シタ者ニハ、或程度獎勵ヲ與ヘルト云フコトハ差支ナイト思ヒマスガ、ソレモ無論程度問題デ或適正ナ程度ニ於テハ結構ダト思ヒマス、斯ウ云フ方法ヲ講ジテ、本當ニ民主的ナ機關ニ依ツテ總テ取扱フト云フコトニスレバ、閣ヲ取締ルコトガ出來ハセヌカト考ヘマスケレドモ、ソレニ付テ御批評ナリ、或ハ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス、次ニハ國民ノ運動ヲヤツタラドウカ、此ノ點ハ實ハ本會議デ御質問申上ゲタノデマスガ、或ハ總理大

臣カ、内務大臣ノ管轄カモ知レマセヌケレドモ、現内閣ガ出来マシタ最初ニ於テ、是ハ供出ノコトニ關聯スルノデヤナイカト、新聞デハ感シラレタノデスガ、國民の總運動ヲ起スト云フコトニ付テ、言論機關ヲ動員シ、又代議士モ加ツテヤルト云フヤウナコトガ新聞ニ出テ居リマシタガ、其ノ後番トシテ消息ガ絶エテシマツテ居ルガ、今以テソレヲ適當ナ機會ニヤラレル御意思ガ有ルカ無イカ、私ハ實ハサウ云フヤウナコトヲ餘程前ニ言ヒ出シタノデアリマスガ、前内閣ノ時ニハ、マダ政黨ノ「バック」ガナイカラシテソレハ駄目ダ、内閣ガ迷ッタラヤツテモ宜イト云フコトヲ申シテ居ラレマシタガ、丁度新ラシイ内閣ガ出来タ時ニ、直グソナ話ガアリマシタガ、矢張り國民全體ノ道義ヲ振興スルト云フコトデナケレバ斯ウ云フ取締リノ實效ヲ擧ゲルコトハ到底困難ダと思ヒマス、ソレデ供出ニ致シマシテモ、斯ウ云フ風ナ國民ノ總運動ト相俟ツテ、先程申シマシタヤウナ本當ノ民主的ナ配給、買上、發送ト云フヤウナ機關ヲ運営スルコトニシタナラバ、或點迄目的ヲ達スルコトガ出来ハシナイカト思ヒマス、是等ニ對スル御考ヲ伺ヒタイ

○政府委員(補見義男君) 供出ノ問題民主化ノ問題ニ付テノ第一點ノ御尋ネデアリマスガ、私共モ全く同様ノ觀點カラ此ノ問題ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、從ツテ食糧ノ供出ニ關聯致シマシテモ、道府縣ニ食糧委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、中央カラノ割當、或ハ又下ヘノ割當、其ノ他生産ニ關聯シタ色々ノ事項ヲ審議決定シテ行キマス機關ト致シマシテ、只今申シマシタ食糧委員會ト云フモノヲ構成シテ居ルノデアリマス、此ノ委員會ハ勿論生産者ノ方面モ入リマスルガ、主トシテ消費者、是ハ各政黨關係ノ方ハ勿論、消費組合關係、勞働組合關係、其ノ他一般ノ學識經驗ノアル方々、總テノ人々ヲ網羅致シマシテ、此處デ食糧ノ大キナ問題ヲ御審議、又決定ヲシテ戴クト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、唯今御話ニナリマシタ中デ、生産農民ダケノ團體ノコトニ觸レテノ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ恐ラク市町村ノ食糧調整委員會ノ問題デアラウカト存ズルノデアリマスガ、此ノ食糧調整委員會ハ御承知ノヤウニ、各部落、各農家ニ對スル割當量ヲ決メマス、從ツテ是ハ其ノ村ノ供出責任量トシテ決リマシタモノヲドウ云フ風ニ之ヲ部落ニ又農家ニ割リ當テルカ、ソレト同時ニ又見返リノ生産用資材、例ヘバ肥料ト云フ風ニ分ケルカト云フコトガ主デゴザイマシテ、是ハ勿論一般ノ消費者ノ方々ハ御存ジノナイコトデ、一番能ク知ツテ居ルノハ、お互ノ生産農民ガアソコノ部落、アノ農家ハドレ位生産スルカト云フコトヲ一番能ク知ツテ居ラレル譯デアリマスカラ、從ツテ市町

村ノ食糧調整委員會ハ耕作農民ガ中心ニナル、勿論農業會長トカ、或ハ検査員トカ、サウ云フヤウナ人々モ入り、又部落會長等モ入りマスルケレドモ、主トシテ生産農民ヲ中心ニシテ行クノデアリマス、其ノ狙ヒハ、先程申上ゲマシタヤウナ觀點カラ致シテ居ルノデアリマスガ、建前ト致シマシテハ、是ガ民主的ニナリ、又特ニ輿論ノ力ト云フモノヲ活用致シタイト云フコトヲ私共モ考ヘテ居ルノデアリマシテ、第二點ノ御尋ニモ關聯致スノデアリマスガ現在食糧關係ニ付キマシテハ、衆議院ニ食糧對策委員會ト云フモノガ出来テ居リマス、是ハ各黨ガ網羅セラレマシテ、相當多勢ノ方々ガ、此ノ委員トシテ、例ヘバ供出部會トカ、配給部會トカ、資材部會トカ、色々ノ部會ニ分レテ、ソレト政府ニ對シテ色々協力ヲシテ戴イテ居ルノデアリマス、早場米ノ供出獎勵ニ付キマシテモ、大體議會ノ方ノ審議ノ日外ガ着キ次第、是等ノ方々ガ行ツテ、各縣ニ獎勵シテ貰フ、結局、各方面ノ人々ノ御協力ニ依ラナケレバ、勿論生産農民ニ對スル自覺ヲ促スト云フコトモ必要デアリマスト同時ニ、輿論、或ハ各界ノ御協力ヲ得ナケレバナラヌ、先程モ御話ガアリマシタガ、地方長官ノ例ニ徴シマシテモ、例外ナク地方長官ハ市町村ノ生産見込ト云フモノニ引摺ラレル、或ハ生産報告ニ付テ色々政治的ノ考慮モ加ヘテ居ルヤウデアリマシテ、漏レナク私共ノ

生産見込トハ遠ツタ低目ノ數字ヲ言ツテ居ルデアリマス、一人トシテ地方長官デ私共ト見解ヲ同ジウスルヤウナ地方長官ハ現在ノ處、遺憾ナガラ米ノ供出ニ付テハ無イノデアリマス、是等ノ人々ニ對シマシテハ、内務省トモ協力ヲ以テマシテ反省ヲ促シテ居ルノデアリマスガ、地方長官トシマシテモ、色々立場モ、辛イ所モアラウカト思フノデアリマスガ、是等ハ結局、今申シマシタヤウナ輿論ノ力並ニ各界各層ノ御協力ト云フコトニ依ラナケレバ、ナカノ解決ガ困難デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、折角努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○川上嘉市君 モウ一ツ御尋ネ致シマスガ、サウスルト、米デシタカ、供出以外ノ自由販賣ハ許サヌト云フ大臣ノ確カ御答辯ノヤウニ思ツタノデスガ、供出以外ノ剩ツタモノハ、何ノ手ヲ經テオヤリニナル御決定デスカ

○政府委員(補見義男君) 供出割當以上ノ、詰リ超過供出ニ付キマシテハ、是ハ勿論政府ニ於テ買取リマシテ、一般ノ配給「ルート」ヲ通ジテ流ス、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス

○川上嘉市君 ソウ致シマス、政府ガ御買上ニナルノハ營團デスカ、或ハ農業會デスカ、結局私ハ此ノ問題ヲ解決スルニハ、サウ言ツタ供出以外ノ餘分ナモノヲドウ處理スルカト云フノデ問題ハ解決スルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、ソレヲ或特定ノ民主的ノ機關ヲ通ジテ、ソレ以外ニハモウ總對ニイカヌト云フヤウナ方法ヲ執ルコトガ出来ナイカドウカ、サツキ質問ノ中ニ、ソレガアツタノデアリマスガ、ソレニ對スル御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(補見義男君) 機關ト致シマシテハ、結局現在一般ノ割當ノ食糧ハ、農業會ヲ通ジテ政府ガ買ヒマシテ之ヲ食糧管理ニ一定ノ計畫ノ下ニ賣却シテ、一般消費者ニ廻ス、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、供出割當量以上ノモノニ付テ色々問題ガアリ所謂自由販賣ノ議論モアツタノデアリマスガ、先程、陸大臣カラモ御話ガゴザイマシタヤウナ情勢デゴザイマシテ色々微妙ナ國際的ノ關係モアル譯デアリマスガ、政府ト致シマシテハ、自由ナ流シ方ハサセナイ、一般ノ、勿論之ヲ引出ス爲ノ色々ノ手段ト云フモノハ講ゼラレナケレバナラヌト考ヘマスガサウ云フヤウナ手段ヲ講ジマシテ、出来ルダケ私共トシテハ、割當以上ノ超過供出ヲ期待シテ居ルノデアリマスガ其ノ供出セラレマスル超過分ニ付キマシテハ、矢張り一般ノ集荷徑路ト同様ニ、農業會ヲ通ジテ政府ガ買ヒマシテ之ヲ一般ノ配給「ルート」ニ從ツテ配給スルコト云フ方向デ進ンデ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○川上嘉市君 ソコデ、私ノ最も民主的デナイト申シマシタノハ、本當言フト、農業會ノコトデス、農業會ガ生産

者ダケデアアルガ爲ニ、ソコデ買ヒマス
時ニ値段トカセナコトニ付テ、決シ
テ行カナイ、相當ノ開キガアルヤ
ウデス、或ハ買フ時ニ皆買ハナイトカ
有ツテモ無イト云フ風ナコトモアリマ
セウ、昨年ノ密柑ガ非常ニ値段ガ高ク
テ、一反歩ノ收穫ガ、密柑畑ヲ持ツテ
居ル人ハ五萬圓乃至六萬圓ニモナリマ
シタ、其ノ當時買ヒ始めハ公定ガ九十
錢ダツタノヲ、イキナリ十三圓デ買ツ
タト云フノガアル、静岡縣ノ實情ハサ
ウダツタノデス、サウ云フ時ニ、農業
會ヲ通ジテ買集メテ爲ス時ニ、其ノ値
段ナルモノガ非常ニ素レ、ソレガド
ウカト申シマス、結局生産者ダケデ
アルガ故ニ、先程御話ノアリマシタ供
出割合ヲ決メルト云フ食糧委員デスカ
其ノ點ニ付テハ、是ハ民主的ニナツテ
居ルト思フノデスガ、其ノ委員ニナツ
テ居ル人ナシカノ感想ヲ聴キマシテモ
矢張り生産者ダケノ主張ガ非常ニ強ク
テウマク行カヌト云フ話ヲ聴イテ居リ
マス、況ヤ生産者ダケノ或機關デ以テ
買上ゲルト云フト、其處ニ色々ノ弊害
ノ根本ガアルノデヤナイカト考ヘル、
ソコデ今御即答ヲ願フコトハ非常ニ御
無理ダト思ヒマスガ、丁度縣長官モイ
ラツシヤイマスカラ、ソレ等ノ點ヲ將
來一ツ御考慮ヲ願フテ、何カモウ少シ
出來ナイ出來ナイデヤツテ居ルト、結
局仕方ガナイノデス、何カ出來ル方決
マ一ツ國民全部ノ爲ニ御考ヘ願ヒタイ
ト思ヒマス、ソレカラ先程チヨット御

伺ヒシマシタガ、國民運動ニ付テハ、
是ハ或ハ進駐運トノ關係モアルカモ知
レマセヌガ、若セ御差支ガナイノダツ
タラ、ソレ等ニ付テ御考ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

如何ニ是等ヲ考ヘルカ、又ドウ云フヤ
ウナ構想ヲ以テサウ云フコトヲヤルノ
ガ適當ナリヤ否ヤト云フコトニ付キマ
シテハ、慎重ナ考慮ヲ要スルト思フノ
デアリマス、此ノ點ニ付テハ、今
直チニ斯様ナ方法ニ依ツテ斯ウダト云
フヤウナコトモ申上ゲ兼ヘル次第モア
リマス譯デ、御了承願ヒタイト思ヒマ
ス

大臣ハ、關係大臣ハ其ノ根本ノ割當
方針ニ基キマシテ、各主管ノ中ノ各産
業ニ對スル割當ヲスル譯デアリマスカ
ラ、根本ノ責任ノ主體ト言ヒマス、
ソレハ經濟安定本部ノ總裁タル國務大
臣ニゴザイマス、其ノ計畫ノ下ニ、各
省大臣ガ各々ノ主管ノ事項ヲ實施スル
ス様ニ御了承願ヒタイト思ヒマス

大臣ハ、關係大臣ハ其ノ根本ノ割當
方針ニ基キマシテ、各主管ノ中ノ各産
業ニ對スル割當ヲスル譯デアリマスカ
ラ、根本ノ責任ノ主體ト言ヒマス、
ソレハ經濟安定本部ノ總裁タル國務大
臣ニゴザイマス、其ノ計畫ノ下ニ、各
省大臣ガ各々ノ主管ノ事項ヲ實施スル
ス様ニ御了承願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(樺之助君) 只今供出ノ
制度、殊ニ只今例ニ御舉ゲニナリマシ
タ果物其ノ他、所謂生鮮食糧品ノ配給
等ニ付キマシテハ、農林次官カラモ御
答ノアリマシタヤウニ、農林省トシテ
モ折角努力セラレテ居リマスガ、尙是
等ニ付キマシテハ、ヨリ以上ノ途モナ
カラウカト云フコトニ付キマシテハ、
是カラモ十分ニ研究ヲ致シマシテ、若
シ直ス途ガアリマスレバ、其ノ途ニ行
クヤウニ折角各機關ト協力致シタイト
私共ハ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、國
民運動ノ問題デアリマスガ、從來ノ國
民運動ガ、戰時中一ツノ或目的ノ爲ニ
國民ヲ巴強ヒテ之ヲ誘導スル、之ガ爲
ニ日本ノ平和主義の觀念ヲ破リマシテ
或爲スベカラザル一ツノ戰爭ニ誘導シ
タト云フヤウナコトモアリマス、此
此ノ國民運動ノコト、又所謂「ファ
ツシヨ」的ト言ヒマス、一ツノ少數
ノ人達ノ計畫ニ基キマシテ、國民全般
ヲ動かサウトスル運動ガ、是モ又民主
的ナリヤ否ヤト云フコトニ付テモ考慮
ヲ要スル點モアリマス、其ノ點ニ
付テハ今回ノ補償打切りニ伴ヒマスル
經濟界ノ動キニ付テモ、國民ノ各層ノ
協力ヲ得ナケレバナラス問題モアリマ
ス、勿論食糧問題モアリマス、關係各省

如何ニ是等ヲ考ヘルカ、又ドウ云フヤ
ウナ構想ヲ以テサウ云フコトヲヤルノ
ガ適當ナリヤ否ヤト云フコトニ付キマ
シテハ、慎重ナ考慮ヲ要スルト思フノ
デアリマス、此ノ點ニ付テハ、今
直チニ斯様ナ方法ニ依ツテ斯ウダト云
フヤウナコトモ申上ゲ兼ヘル次第モア
リマス譯デ、御了承願ヒタイト思ヒマ
ス

大臣ハ、關係大臣ハ其ノ根本ノ割當
方針ニ基キマシテ、各主管ノ中ノ各産
業ニ對スル割當ヲスル譯デアリマスカ
ラ、根本ノ責任ノ主體ト言ヒマス、
ソレハ經濟安定本部ノ總裁タル國務大
臣ニゴザイマス、其ノ計畫ノ下ニ、各
省大臣ガ各々ノ主管ノ事項ヲ實施スル
ス様ニ御了承願ヒタイト思ヒマス

大臣ハ、關係大臣ハ其ノ根本ノ割當
方針ニ基キマシテ、各主管ノ中ノ各産
業ニ對スル割當ヲスル譯デアリマスカ
ラ、根本ノ責任ノ主體ト言ヒマス、
ソレハ經濟安定本部ノ總裁タル國務大
臣ニゴザイマス、其ノ計畫ノ下ニ、各
省大臣ガ各々ノ主管ノ事項ヲ實施スル
ス様ニ御了承願ヒタイト思ヒマス

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

○男爵田中龍夫君 大分時間モ經テマ
シタガ、國務大臣ハ午後カラモ御出席
ニナリマセウカ、ソレデナケレバ、只
今承リタイト思ヒマスガ

ノ構想デアリマス

○男爵田中龍夫君 戰時中デモ、矢張り總理大臣が主務大臣ニ對シマシテ、生産擴充、特ニ重點産業等ニ付キマスル各般ノ生産要素、各省ニ互ル問題ニ付キマシテ、矢張り査察等ニ付テ命令が出タト思フノデアリマス、併シ問題ハ矢張り企業院ガゴザイマシテ、ソレガ實施官廳ノ各省ト云フモノトノ間ニ結局計畫ノ眞ノ「セーブ」ト云フモノガ實施迄滿タナケレバ、ドウシテモ完璧ニ出來ナイト云フ所迄行キマシテ、所謂企業院ト商工省トノ合體ノ軍需省ノ總動員局ト云フモノニナツタモノト思フノデアリマス、今回ノ、矢張り總理大臣ガソレナラバ、各省大臣ヲ指揮命令遊バスト言ヒマス場合ニハ、内閣ガ全部ノ責任ヲ御取リニナル御考ヘデゴザイマス

○國務大臣(勝桂之助君) 從來ノ日本ノ經濟統制ノ方策ニ付キマシテハ、或ハ企業院、其ノ他色々ノ構想ガゴザイマシタガ、是ハ實ハ單純ノ企業ノ應デアリマシテ、各省大臣ニ對シマスル企業院ガ首腦者ノ指揮命令權ト云フモノガゴザイマセヌデシタ、今回ノ安定本部ノ官制ニ於キマシテハ、從來ト異ナリマシテ、特ニ各省大臣ニ對シマスル指揮命令權ヲバ明確ニ致シマシテ、從來企業院等中央ノ計畫院デ計畫シマシタコトガ、各省ニ對シマスル命令ト言フカ、政策ノ決定シナイコトヲバ防止シマスルヤウナ積極的ナ從來ニ無イ官

制ヲ作リマシテ、其ノ點ヲ明確ニ致シマシタ譯デアリマス、マア結局、最後ノ命令權ト云フコトデアリマスケレドモ、實際問題ニ於キマシテハ、最近迄デモ安定本部ガ出來マシテ、色々ノ具體問題ニ付テ、各省ノ施策ヲバ綜合的ニ計畫及ビ其ノ實施ヲ推進致シテ居リマスケレドモ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテ、事務的ニモ大變順調ニ行ツテ居リヤウデアリマスガ、若シ各省ノ間ニ意見ノ相違ノアリマスケル場合ニハ、先程申シマスル安定本部總裁デアリ總理大臣ガ各省ニ命令スルト云フコトニ相成ツテ居リマスノデ、別ニ其ノ間ニ關係全體ノ責任ト云フヤウナ問題ハ起キズニ問題ガ進ミ得ルト、斯様ニ存ジテ居リマス

○男爵田中龍夫君 私ノ御尋ヲ申シテ居リマスル骨子ハ、閣僚間ノ權限ノ問題トカ何ト云フ風ナ、サウ云フ風ナ最高部ノ問題デアリマセヌデ、實際各責任ノ所在ガ明確デナイ、又多元的ニナツテ居ルト云フコトガ、戰時中ニ生産擴充、其ノ他ノ増産上、工場事業場等ノ現場ニ於キマシテハ、非常ニ苦勞ヲシテ居ツタノデ、譬ヘテ申シマスケレバ、原材料ノ割當ハ商工省ガ與レルケレドモ、輸送ハ運輸省ダ、ソレデ運輸省ニ行ケバ、又運輸省ノ下ノ方ノ計畫ガ違ツテ、生産命令ハ出タケレドモ、今度ハ資金ノ問題ニナル、是ハ大藏省ダ、大藏省ノ方デハ、商工省ニ對シテ必ズシモ同一ノ步調ヲ執ラナイ爲

ニ、サウ云フ風ニ生産ノ末端ノ現場ガ四分五裂ニ寸斷サレテ居ルコトガ、實際ノ生産ニ非常ナ影響ガアツテ、生産減退ト云フモノヲ導イタ、是ハ顯著ナ事實ダト思フノデアリマシテ、斯カル問題ニナリマシタ時ニ、會社工場ト云フ風ナモノハ、安定本部ニ陳情スレバ全面的ニ責任ヲ持ツテ戴ケルモノデアリマセウカ、如何ナモノデアリマセウカ

○國務大臣(勝桂之助君) ドウモ此ノ官廳ノ權限ト言ヒマスカ、職務ト申シマスカ、ドウモ是ハ一元的ト申シマシテモ、一ツノ長、一ツノ頭デ全部ヲドウモヤルト云フコトモ、技術上ハ出來ナイノデ、如何様ニ官制ヲ考ヘ、如何様ニ役所ノ職務振リヲ變ヘマシテモ、矢張り各々所管ノ廳ガアリマスケレバ、ソレ等ノ御協力ガアツテ、初メテ仕事ガ出來ルノデアリマスケラ、今ノ御質問ノヤウナ實際問題トシテ、一ツノ所ニ行ケバ萬事ガ片ガ附クト云フヤウナコトハ、事實上ハ是ハ困難ダラウト思ヒマス、併シナガラ、從來ノ日本ノ官廳ノ制度、是ガ良イカドウカト云フコトニ付キマシテハ、根本的ニ此ノ憲法改正ヲ企圖致シマシテ、内閣、各省及ビ地方制度、マア色々ニ付テノ根本的ノ此ノ官公署制度ニ付テノ改良問題ガ研究サレルコトニナリマシテ、近々ニ其ノ調査モ發足スルヤウニモ存ジテ居ルノデアリマスガ、何レサウ云フヤウナ點ノ改善ニ付テハ研究サレナケレ

バナリマセヌケレドモ、例ヘバ今ノ御尋ノヤウナ場合ニ付キマシテ、安定本部ニ參レバ萬事ガ片ガ附カドウカ知リマセヌケレドモ、色々ノ事業ノ指導ニ當リマシテ、窓口ノ多イト云フコトハ、非常ナ不能率デアルト云フコトハ申ス迄モナイ處デアリマス、大キナ所デハ手モアリマセウガ、中小工業ニナリマスルト、誠ニソレガ迷惑ニナリ

實ハ困ルノデアリマスガ、實ハ商工省トモ目下協議中デアリマスガ、何カ此ノ商工省ノ下部機構トシテ、中小工業ニ關スルダケノ問題デアリマスガ、中小工業ノ假ニ助成局トデモ申シマスヤウナ機關ガアリマシテ、中小工業者ハ手モナシ、物モ能ク分ラナイノデアリマスルカラ、此ノ局ガ中央ニモ、又地方ニモ適當ナ分局ガ出來マシテ、其處ニ來レバ、資金ノコトデモ資材ノコトデモ、或ハ勞務ノコトデモ何デモ懇切ニ指導ガ出來得ラレル、又技術上ノ問題ニ付テモ、適當ナ指導ガ受ケ得ラレルト云フヤウナ風ニ致シマシテ、ソコデ窓口ヲ一ツニシタナラバドウカト云フヤウナ考モ持ツテ居リマス、是ハモウ、唯責任ガドウダ、權利ガドウダト云フヤウナコトデハ解決出來マセヌノデ、實際ノ必要ニ應ジマシテ、左様ナ部局ヲ設ケテ、成ルベク窓口ヲ一ツニシマシテ、適切ナル指導ト援助ノ出來ルヤウニ考ヘル、マア、コンナコトヲ私共ハ考ヘテ居リマスガ、是ガ大中小、總テノ産業ニ互ツテソシナモノガ

出來ルカドウカト云フコトハ、是ハ隨分官廳機構ノ改正ノ問題トシテ研究スベキモノダト思フテ居リマス、共々努メタイト存ジテ居リマスカラ、ドウカ御了承ヲ願ヒマス

○委員長(男爵古市六三君) ソレデハ是デ休憩ヲ致シマス、午後ハ一時十五分カラ開會致シマス

午後零時十九分休憩

午後一時三十一分開會

○委員長(男爵古市六三君) ソレデヤ午前ニ引續キマシテ開會致シマス、三橋委員長ニ申上げマスガ、大藏次官ハ各派交渉會ノ方ヘオイデニナツテ居リマシテ、都合ガ附キ兼ネルノデ、鹽ノ關係ニ付テ説明員ガ御見エニナツテ居リマスルカラ、如何デゴザイマセウカ

○三橋四郎次君 宜シウゴザイマス

○委員長(男爵古市六三君) ソレデヤ説明員

○三橋四郎次君 鹽ノ問題デ御尋ネ致シマスガ、戴イタ參考書ヲ見マスルト從來ノ日本ノ製鹽事業ガ如何ニモ情ナイモノニナツテ居リマシテ、工業鹽及ビ食料鹽ノ所要量ノ内地產額ガ其ノ四分ノ一程度ト云フヤウナ、實ニ哀レナ狀況デアリマス、是ハ昨日デアリマシタカ、一昨日デアツタカ、是ハ大藏省ノオ方デナクテ商工省ノ方ダト思ヒマスガ、内地鹽ハ到底數量的ニモ、生産「コスト」ノ上カラ言ウテモ、自給ガドウシテモ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ頭カ

ラ決メテ居タヤウニ、斯ウ伺ツタノデアリマスガ、一體我が國デ、今最モ科學的ノ方法ニ依ツテ製鹽セラレテ居ル所ハ何處デアルカ、其ノ生産量ハドンナ風ナ「エフィシエンシー」デアルカ、又其ノ「コスト」ハ今ドノ位ニ附イテ居ルカ、又輸入鹽ハ其ノ値段ガドンナ風デアルカ、是ハ爲替關係モアリマスガ、ドンナ風ニ爲替「レート」ヲ決メルカ、サウスレバ自然出ルト思ヒマスガソレト對比シテ見テドウ云フコトニナルカ、日常必需品トシテ所謂米鹽ト昔カラ一口ニ言フノデアリマスガ、之ヲ全部ニ近イ迄ヲ他ニ求メテ居ルト云フ今迄ノ行キ方ハ、自存獨立ヲ危クスルハ申ス迄モナク、工業原料トシテ將來日本ノ歩キ方ニ鹽ノ占ムル位置ノ重大ナルコトモ、戰前カラ考ヘテモ申ス迄モナイノデアリマス、然ルニ頭カラ鹽ガ内地ニ在ツテハ出來ナイ、斯ウ決メテ掛ルノハ、科學的ノ考ヘ方ノ貧困カラ戰爭ニ敗ケタト云フ其ノ教訓ヲ忘ルモノデナクテ何デアラウカ、「ドイッ」ハ開ク所ニ依ルト、砂糖問題ヲ、砂糖「ケー」カラ、「ビート」デ完成シタト云フ風ニモ聞イテ居リマスガ、今電力ノ方ハ色々製肘ヲ受ケテ居リマスガ、兎ニ角水力電氣ガ地形上ニ於テ日本ハ十分利用シ得ル國デアリマス、ソレカラ四面海デアツテ、鹽ノ原料ハ無盡藏デアルト云フ所ニ、鹽ヲ科學的ニ考ヘナイデ、初メカラ内地デハ出來ナイ、他所カラ買フト云フヤウナ風ナ

考ヘ方ハ、新ラシイ日本ノ歩ミトシテドンナモノカ、ソレヲ私ハ前申シマシタヤウニ、餘リニ非科學的ノ考ヘ方デアル、斯ウ思フノデアリマス、ソレニ對シテノ當局ノ意見、ソレカラ心構ヘ等ガ伺ヒタイノデアリマス

○説明員(市瀬藏藏) 御説明致シマス、從來日本ノ製鹽狀況、之ヲ勘案致シマシテ、工業用鹽、食料用鹽ノ必要量ノ、特ニ最近ニ於キマシテハ、四分一程度シカ確保出來ナカッタト仰シヤイマシタ御質問ノ通りデアリマシテ、此ノ點ヲ非常ニ遺憾トシテ居タノデアリマス、併シナガラ只今ノ御質問ニアリマシタヤウナ「コスト」ノ上カラ非常ニ日本ノ製鹽事業ハ割ガ悪いモノデアルト申サレマスノハ、尙檢討ノ餘地ガアルカト思ヒマス、ト申シマスノハ、昨年度カラ逼迫シタ鹽ノ需給狀況ニ對處シマシテ出來マシタ自給製鹽業ト云フモノガアリマスガ、此ノモノノ中ニハ、劣悪ナル日本ノ製鹽立地條件ヲ克服シテ、製鹽技術ニ於テ著シイ進歩ヲ來シタノデアリマス、例ヘバ電氣製鹽ニ於キマシテ、海水電氣「ボイラー」デ海水ヲ濃縮シマシテ、ソレヲ眞鹽、之ヲ二重乃至三重、四重ト組合セテ、此蒸ヲ促進サセルノデアリマシテ、斯ウ云フ海水電氣「ボイラー」三重效用眞鹽、斯ウ云フヤウナ製鹽技術ヲ以テ致シマス、原價ノ計算デ、一「トン」當リ約九百圓程度ニナルノデアリマス、又現在廣島縣ノ三原デヤ

ツテ居リマス帝人式ノ製鹽方法ヲ以テ致シマシテモ、現在ノ處、明確ナル原價計算ノ「データ」ヲ御見セスルコトノ出來ナイノヲ遺憾ト致シマスガ、是又千圓ヲ遙カニ割ルノデアリマス、只今申シマシタ電氣製鹽ノ眞空罐利用ノモノニアリマシテハ、大體早クモ今年ノ十月、ソレカラ來年ノ二月頃ヲ期シテ完成スルモノガ多イノデアリマシテ、是ガ完成シタ時ニ具體的ナ數字ヲ御知ラセ致シマス、我が國ノ製鹽技術モ相當進歩シテ居ルコトガ御了解ニナルト思フノデアリマスガ、未ダ稼働シテ居ルモノガアリマセスノデ、此ノ點非帶ニ遺憾トシテ居リマス、斯ウ云フ機械的ナ製鹽デ、先ツ年産能力二十萬「トン」ヲ擧ゲル豫定ニナツテ居リマス、ソレカラ鹽ノ需給狀況ニ付テ申上ゲマス、此ノ度ノ鹽政策ガ轉換致シマシテ、一定ノ條件ニ該當シマス、要スルニ非常ニ能率ノ好イモノダケガ、補助金ヲ交付シ得ルコトニナリマシテ、サウシテ專業製鹽者ニ切替ヘラレルノデアリマスガ、斯ウ云フノガ凡ソ四十萬「トン」ノ設備能力ヲ持チ、將來實生産ニ於テモ三十萬「トン」ハ越スト思ヒマス、ソレカラ從來ノ國內專業製鹽者ガ設備能力五十萬「トン」ハ是ハ先般ト昨年來ノ風水害ニ依リ鹽田ガ破壞セラレマシテ、最盛期ノ國內供給力ヨリモ落チテ居リマスガ、此ノ五十萬「トン」ノ能力デ明年年度カラハ四十萬「トン」ノ供給ガ出來ルト思ヒマ

ス、茲ニ於キマシテ、國內デ七十萬「トン」ノ供給ガ出來ルノデアリマスガ、一方國內需要ヲ見マス、食料用鹽トシテハ現在ノヤウナ食糧ナ難給ノ形ヲ打破ツテ、昭和十五年程度ノ自由ニ鹽ヲ買ヘル狀況ニ致スニハ、百萬「トン」ヲ要シ、現在ノ「ソーダー」工場、其ノ他ノ能力カラ見マス、工業用鹽四十萬「トン」アレバ十分充足出來ルト思ヒマス、斯ウ云フ需要會計百四十萬「トン」ニ對シマスルト、曩ニ申シマシタ七十萬「トン」ノ供給デハ非常ニ少イノデアリマシテ、之ヲ輸入鹽ニ俟ツト云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマス、抑々製鹽事業ニ付キマシテハ大藏省ト致シマシテモ、最低限度ノ國內需要ハ確保致シタイ、サウ云フ考カラ國內生産、百二十萬「トン」ヲ目標トシテ、昨年度カラ五箇年計畫ヲ以テ、先ツ自給製鹽ノ製鹽ノ技術ノ優秀ナルモノヲ育成シヨウ、サウシテ從來ノ專業製鹽ヲ基本トシテ改良シテ行カウ、斯ウ云フ計畫デヤツテ居タノデアリマスガ、此ノ度政策ノ轉換ヲ繰リマシテ、斯ウ云フコトハ專業製鹽者ニ對シテノミ限ラレルコトニナリマシタ、斯クシテ最低限度ノ國內需要ヲ充足スルト云フ線ハ些カ轉換ヲ餘儀ナクセラレマシタケレドモ、鹽ノ國內鹽ノ供給確保ト云フ點ニ付テハ、今後トモ政府トシテ、大藏省ニ致シマシテモ、考ヘテ居ルノデアリマデ、決シテ日本ハ立地條件ガ悪いカラ、鹽ハ駄目デ

アル、斯ウ云フ悲觀的ナ考ハ持ツテ居ナイノデアリマス、輸入鹽ノ狀況ヲ申上ゲマス、今年ハ九十七萬「トン」約百萬「トン」ノ輸入ガアルト云フ話デアリマシタガ、今年四月カラ九月迄ノ上半期ニ於キマシテハ、僅カ十萬「トン」シカ入ツテ居リマセヌ、斯ウ云フ實情デアリマシテ、輸入ニ多ク期待致シ兼ネルノデアリマスガ、諸般ノ事情ガ變リマシテ、輸入ガ相當潤澤ニ入ツテ來タト致シマシテモ、現在ノ爲替相場ハ一應「チエック」セラレマシテ、一「ドル」十五圓トナツテ居リマシテ、約一「トン」ノ鹽ガ四百五十圓程度ニナツテ居リマス、併シナガラ自由經濟ニ於キマス購買力低下説ニ依ツテ爲替相場ガ出來ルト致シマスレバ一「ドル」約六十圓見當カト思ハレマス時ニハ、鹽一「トン」ガ千百圓カ、二百圓程度ニナラウカト思ヒマシテ、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、輸入鹽、案外安カラズト、サウ云フ感ガ致デノデアリマス、以上デ

○三橋四郎次君 サウシマス、今年政府ガ補助金ヲ出シテ自給製鹽デヤツタモノガ五十萬「トン」ガ、今年秋ト云フカ、十月頃迄ニハ「フル」ニ行ケバ四十萬「トン」ハ出ルダラウ、ソレカラ舊來ノ製造ニ依ルモノガ約三十五萬乃至四十萬アルトスルト、マアソレヲ四十萬「トン」ノ電氣製鹽ノ方ガ四十萬ト見テ、兩方合セルト八十萬「トン」ノソレカラ御話ノ自家鹽ガ約百萬「ト

ス、茲ニ於キマシテ、國內デ七十萬「トン」ノ供給ガ出來ルノデアリマスガ、一方國內需要ヲ見マス、食料用鹽トシテハ現在ノヤウナ食糧ナ難給ノ形ヲ打破ツテ、昭和十五年程度ノ自由ニ鹽ヲ買ヘル狀況ニ致スニハ、百萬「トン」ヲ要シ、現在ノ「ソーダー」工場、其ノ他ノ能力カラ見マス、工業用鹽四十萬「トン」アレバ十分充足出來ルト思ヒマス、斯ウ云フ需要會計百四十萬「トン」ニ對シマスルト、曩ニ申シマシタ七十萬「トン」ノ供給デハ非常ニ少イノデアリマシテ、之ヲ輸入鹽ニ俟ツト云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマス、抑々製鹽事業ニ付キマシテハ大藏省ト致シマシテモ、最低限度ノ國內需要ハ確保致シタイ、サウ云フ考カラ國內生産、百二十萬「トン」ヲ目標トシテ、昨年度カラ五箇年計畫ヲ以テ、先ツ自給製鹽ノ製鹽ノ技術ノ優秀ナルモノヲ育成シヨウ、サウシテ從來ノ專業製鹽ヲ基本トシテ改良シテ行カウ、斯ウ云フ計畫デヤツテ居タノデアリマスガ、此ノ度政策ノ轉換ヲ繰リマシテ、斯ウ云フコトハ專業製鹽者ニ對シテノミ限ラレルコトニナリマシタ、斯クシテ最低限度ノ國內需要ヲ充足スルト云フ線ハ些カ轉換ヲ餘儀ナクセラレマシタケレドモ、鹽ノ國內鹽ノ供給確保ト云フ點ニ付テハ、今後トモ政府トシテ、大藏省ニ致シマシテモ、考ヘテ居ルノデアリマデ、決シテ日本ハ立地條件ガ悪いカラ、鹽ハ駄目デ

アル、斯ウ云フ悲觀的ナ考ハ持ツテ居ナイノデアリマス、輸入鹽ノ狀況ヲ申上ゲマス、今年ハ九十七萬「トン」約百萬「トン」ノ輸入ガアルト云フ話デアリマシタガ、今年四月カラ九月迄ノ上半期ニ於キマシテハ、僅カ十萬「トン」シカ入ツテ居リマセヌ、斯ウ云フ實情デアリマシテ、輸入ニ多ク期待致シ兼ネルノデアリマスガ、諸般ノ事情ガ變リマシテ、輸入ガ相當潤澤ニ入ツテ來タト致シマシテモ、現在ノ爲替相場ハ一應「チエック」セラレマシテ、一「ドル」十五圓トナツテ居リマシテ、約一「トン」ノ鹽ガ四百五十圓程度ニナツテ居リマス、併シナガラ自由經濟ニ於キマス購買力低下説ニ依ツテ爲替相場ガ出來ルト致シマスレバ一「ドル」約六十圓見當カト思ハレマス時ニハ、鹽一「トン」ガ千百圓カ、二百圓程度ニナラウカト思ヒマシテ、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、輸入鹽、案外安カラズト、サウ云フ感ガ致デノデアリマス、以上デ

○三橋四郎次君 サウシマス、今年政府ガ補助金ヲ出シテ自給製鹽デヤツタモノガ五十萬「トン」ガ、今年秋ト云フカ、十月頃迄ニハ「フル」ニ行ケバ四十萬「トン」ハ出ルダラウ、ソレカラ舊來ノ製造ニ依ルモノガ約三十五萬乃至四十萬アルトスルト、マアソレヲ四十萬「トン」ノ電氣製鹽ノ方ガ四十萬ト見テ、兩方合セルト八十萬「トン」ノソレカラ御話ノ自家鹽ガ約百萬「ト

アル、斯ウ云フ悲觀的ナ考ハ持ツテ居ナイノデアリマス、輸入鹽ノ狀況ヲ申上ゲマス、今年ハ九十七萬「トン」約百萬「トン」ノ輸入ガアルト云フ話デアリマシタガ、今年四月カラ九月迄ノ上半期ニ於キマシテハ、僅カ十萬「トン」シカ入ツテ居リマセヌ、斯ウ云フ實情デアリマシテ、輸入ニ多ク期待致シ兼ネルノデアリマスガ、諸般ノ事情ガ變リマシテ、輸入ガ相當潤澤ニ入ツテ來タト致シマシテモ、現在ノ爲替相場ハ一應「チエック」セラレマシテ、一「ドル」十五圓トナツテ居リマシテ、約一「トン」ノ鹽ガ四百五十圓程度ニナツテ居リマス、併シナガラ自由經濟ニ於キマス購買力低下説ニ依ツテ爲替相場ガ出來ルト致シマスレバ一「ドル」約六十圓見當カト思ハレマス時ニハ、鹽一「トン」ガ千百圓カ、二百圓程度ニナラウカト思ヒマシテ、斯ウ云フ點カラ考ヘマス、輸入鹽、案外安カラズト、サウ云フ感ガ致デノデアリマス、以上デ

「工業鹽」約三十萬「トン」乃至四十萬「トン」トスルト、マダ其處ニ六十萬「トン」位ノ不足ガ出來ル、然レニ輸入ノ方ノ足取ハ甚ダ惡イト云フヤウナ話デ、甚ダ其處ガ心許ナイノデアリマスガ、結局日本ガ食料用トシテ、或ハ工業鹽トシテ、食料鹽其ノモノハ人口ガ殖エタダケ殖エルノデアリマスガ、工業鹽ハソコデ戰前ノ半分程度トシテモ、其處ニ百五十萬「トン」ハドウシテモ要ル、斯ウ云フ風ニ思フノデアアルガ、然ラバ從來ノ五箇年計畫ガ百二十萬「トン」ハ一應此處デ捨テタト言ヒマスガ、サウシテ輸入鹽ガ豫期ノ如ク今年來ナイカラ將來ハソレバドウ云フ風ニシヨウト云フカ、四十萬乃至五十萬「トン」ノ電氣製鹽ト云フモノヲ將來ハ之ヲ殖ヤシテ行カウト云フ考デアルカ、是ハモウ此處デ一應措キ、サウシテアトハ輸入鹽ニ俟ツト云フノカ或ハ足ラナイ間ハ輸入鹽之間ニ合セルケレドモ、又一方ニ於テモ、矢張り最近ノ今御話ノ、非常ニ技術的ニ進歩シタノヲ、之ヲ以テ今迄ノ舊來ノ製鹽ニモ其ノ技術ヲ及シテ、サウシテ此ノ鹽ノ生産量ヲ上ゲテ行クベキ勿論アルト思フノデアリマスガ、サウ云フ方向ニ進ムベキモノト信ズルノガ常識デアリマスガ、ソレニ付テ一應伺ツテ置キマスノト、又今、御話ノヤウニ、補助金ヲ與ヘテ從來ヤツテ居ルガ、今度ハ能率ノ惡イ動キノ惡イ奴ハ切ツテシマフ、ソレハ一應ノ切リ方ハ宜イデスガ、將

來ノ百二十萬「トン」此ノ方カラ出ルヤウニナツテ、内地製鹽ノ從來ノ方法ガ四十萬「トン」デ、大抵百五十萬「トン」トナルノデアリマスガ、其ノ分ニ付テハ將來ハ一應四十萬乃至五十萬程度ノ生産程度ニ止メテ置クカ、將來ドウ云フ風ニ之ヲ補助育成スルカト云フ、其ノ邊ヲ見込、方針等ガ立ツテ居ルヤ否ヤ、ソレハマダ立ツテ居ナイノカ、其ノ邊ヲチヨット伺ツテ見タイト思ヒマス

在非常ニ原始的ナ方法ガ多イノデアリマシテ、是ハ補助金ノ交付ヲシ得ル條件ニ該當致シマセヌ、例ヘバ海水ヲ其儘釜デ煮詰メルトカ、粗朶デ燃ヤス、或ハ石炭デ燃ヤス、ソレカラ電氣ノ開放式ト申シマシテ、蒸氣ヲ其ノ儘濺々工場内ニ出ス電氣製鹽式、斯ウ云フモノバカリデアリマスガ、斯ウ云フノハ、現實ニ於テ「コスト」ガ「トン」當リ安クテ二千二百圓、薪ノ如キニ至リマスト一萬圓ヲ超エテ居ルノガアリマシテ、是等ハドウ致シマシテモ、輸入鹽ガ潤澤ニナツタ時ニハ、其ノ「コスト」ニ於テ負ケルノデアリマシテ、現在ハ先程申上ゲマシタヤウニ輸入ノ狀況ガ思ハシクアリマセヌガ、關係方面ニ鹽ノ逼迫ヲ陳情シテ、輸入ヲ極力懇請シテ居リマス關係カラ、或ハ近キ將來ニ於テ、相當鹽ノ輸入ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ豫測ヲ致シテ居リマス、尙之ヲ裏附ケルモノト致シマシテ、關係方面カラノ答辯ニ依リマス現在ハ食糧ノ輸送、或ハ復員ノ爲ニ船ガ塞ガツテ居ルノデアルガ、將來、或ハ今度ノ新米ノ狀況ガ非常ニ好イ、要スルニ應作ノ爲ニ、國內ヘノ食糧輸送用ノ船ガ大分空ク、斯ウ云フ場合ニ鹽ヲ相當送ルデアラウ、斯ウ云フヤウナ根據カラ私達ノ推測デハ、近キ將來ニハ相當輸入鹽ガアルノデハナイカト思ヒマス、此ノ場合ニハ、遺憾ナガラ技術的ニ劣惡ナル自給製鹽業者ハヤツテ行ケナクナツテ、遂ニハ製鹽業界カラ

脱落シテ行クノデハナイカト思ヒマス結局鹽ノ需給ニ「ギャップ」ガアルノデアリマシテ、現在ノ優秀ナル日本ノ機械製鹽設備ト、從來ノ專業製鹽ト合シタ實生産七十萬「トン」ノ能力ヲ確保シテ行カウ、斯ウ云フ見解ヲ執ツテ居リマス

答ヘデハ、其ノ邊甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスガ、今ハ外地鹽ヲ人レナケレバナラヌト云フ特別ノ理由ガアルカモ知レマセヌケレドモ、併シナガラ心構ヘトシテハ、今申上ゲタ科學的ニ考ヘレバ、言ヒ換ヘレバ電氣製鹽ノ高度ニ科學化スレバ、「コスト」モ低ク、分量モ殖エルトシタナラバ、輸入鹽ハ將來要ラヌモノニスルト云フコトヲ目標ニシテ、内地ノ製鹽方針ヲ決定スベキモノナリト、斯ウ思フノデアリマス、今トシテハ何かサウ行カヌ事情ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ是非アリタイモノデアルト思フノデアリマス其ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスガ、モウ一ツハ、輸入鹽ガ今ノ場合、是ハ爲替「レート」ノ關係デドウ云フ値ガ出ルカモ知レマセヌガ、假ニ六十圓ナラ六十圓ト見テ、千二百圓ト云ツタヤウニナルト、此ノ鹽ノ場合ハ、米ノ場合ト同ジク、茲ニ値段ヲ高クシテ、消費者ニ對スル値段ト、政府ノ買入値段トニ差ヲ附ケルト云フヤウナコトハ御考ニナツテ居ルヤ否ヤ、ソレモ併セテ伺ヒタイト思ヒマス

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○政府委員(市瀬藏藏君) 只今ノ御質問ノ中、技術的ニ進歩致シマシタ自給製鹽デ、新タニ此ノ度專業製鹽ニナルモノノ「トン」數ヲ御質問ノコトハ、反對ニナツテ居リマスガ、其ノ方ガ設備ガ四十萬「トン」デ、實際ノ生産ガ約三十萬「トン」デアリマス、ソレカラ從來ノ專業ノ方ガ設備ガ五十萬デ從ツテ生産ガ四十萬「トン」デアリマス、此ノ點御了承ヲ御願ヒシマス、デ先程申上ゲマシタヤウニ、現狀デハ勿論、現在工事中ノ製鹽工場ガ完成致シマシテモ、國內ノ需要ヲ充スニハ遙カニ遠イノデアリマシテ、凡ソ國內需要能力ガ政府ノ專業トシテ官鹽トシテ配給シ得ルモノ七十萬「トン」、ソレカラ自給製鹽ガは大體ノ推測デアリマスガ、先ツ二十萬「トン」程度アルノデハナカラウカト、斯ウ思ツテ居リマスガ、孰レニ致シマシテモ鹽ハ足ラナイノデアリマス、サウシマシテ其ノ二十萬「トン」ト申シマス自給製鹽ハ、現

在非常ニ原始的ナ方法ガ多イノデアリマシテ、是ハ補助金ノ交付ヲシ得ル條件ニ該當致シマセヌ、例ヘバ海水ヲ其儘釜デ煮詰メルトカ、粗朶デ燃ヤス、或ハ石炭デ燃ヤス、ソレカラ電氣ノ開放式ト申シマシテ、蒸氣ヲ其ノ儘濺々工場内ニ出ス電氣製鹽式、斯ウ云フモノバカリデアリマスガ、斯ウ云フノハ、現實ニ於テ「コスト」ガ「トン」當リ安クテ二千二百圓、薪ノ如キニ至リマスト一萬圓ヲ超エテ居ルノガアリマシテ、是等ハドウ致シマシテモ、輸入鹽ガ潤澤ニナツタ時ニハ、其ノ「コスト」ニ於テ負ケルノデアリマシテ、現在ハ先程申上ゲマシタヤウニ輸入ノ狀況ガ思ハシクアリマセヌガ、關係方面ニ鹽ノ逼迫ヲ陳情シテ、輸入ヲ極力懇請シテ居リマス關係カラ、或ハ近キ將來ニ於テ、相當鹽ノ輸入ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ豫測ヲ致シテ居リマス、尙之ヲ裏附ケルモノト致シマシテ、關係方面カラノ答辯ニ依リマス現在ハ食糧ノ輸送、或ハ復員ノ爲ニ船ガ塞ガツテ居ルノデアルガ、將來、或ハ今度ノ新米ノ狀況ガ非常ニ好イ、要スルニ應作ノ爲ニ、國內ヘノ食糧輸送用ノ船ガ大分空ク、斯ウ云フ場合ニ鹽ヲ相當送ルデアラウ、斯ウ云フヤウナ根據カラ私達ノ推測デハ、近キ將來ニハ相當輸入鹽ガアルノデハナイカト思ヒマス、此ノ場合ニハ、遺憾ナガラ技術的ニ劣惡ナル自給製鹽業者ハヤツテ行ケナクナツテ、遂ニハ製鹽業界カラ

脱落シテ行クノデハナイカト思ヒマス結局鹽ノ需給ニ「ギャップ」ガアルノデアリマシテ、現在ノ優秀ナル日本ノ機械製鹽設備ト、從來ノ專業製鹽ト合シタ實生産七十萬「トン」ノ能力ヲ確保シテ行カウ、斯ウ云フ見解ヲ執ツテ居リマス

答ヘデハ、其ノ邊甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスガ、今ハ外地鹽ヲ人レナケレバナラヌト云フ特別ノ理由ガアルカモ知レマセヌケレドモ、併シナガラ心構ヘトシテハ、今申上ゲタ科學的ニ考ヘレバ、言ヒ換ヘレバ電氣製鹽ノ高度ニ科學化スレバ、「コスト」モ低ク、分量モ殖エルトシタナラバ、輸入鹽ハ將來要ラヌモノニスルト云フコトヲ目標ニシテ、内地ノ製鹽方針ヲ決定スベキモノナリト、斯ウ思フノデアリマス、今トシテハ何かサウ行カヌ事情ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ是非アリタイモノデアルト思フノデアリマス其ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスガ、モウ一ツハ、輸入鹽ガ今ノ場合、是ハ爲替「レート」ノ關係デドウ云フ値ガ出ルカモ知レマセヌガ、假ニ六十圓ナラ六十圓ト見テ、千二百圓ト云ツタヤウニナルト、此ノ鹽ノ場合ハ、米ノ場合ト同ジク、茲ニ値段ヲ高クシテ、消費者ニ對スル値段ト、政府ノ買入値段トニ差ヲ附ケルト云フヤウナコトハ御考ニナツテ居ルヤ否ヤ、ソレモ併セテ伺ヒタイト思ヒマス

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

○説明員(市瀬藏藏君) 御説明致シマス、從來ノ專業鹽田ノ中ニハ、相當鹽田デ鹽ヲ濃縮致シマスケレドモ、ソレカラノ所謂技術的ニ申シマス、煎煮設備ニ於テ相當劣惡ナ開放式ノ釜釜ヲ使ツテ居ルノデアリマス、要スルニ斯ウ云フモノヲ改良シテ生産能力ヲ上ゲル、ソレカラ先程ノ自給製鹽デ新タニ

專業ニナルモノノ完全稼働ヲ圖ル、斯
ウ云フ方向ニ向ツテ鹽ノ増産ヲ圖ル
云フ方針ヲ當面トシテハ持ツテ居リマ
ス、例ノ製鹽ニ對スル助成金ノ問題モ
アリ、國家ノ財政、經濟ノ上カラ、今
後製鹽ニ相當ノ助成金ヲ盛ツテ行クト
云フコトニモ、ナカ／＼難點ガアリマ
シテ、此ノ際暫クハ設備ノ完全稼働ト
云フコトニ依ル増産、是デ以テ最モ七
十萬「トン」ト申シマシタノヲ相當上
ゲタイト云フ意向デアリマスガ、尙以
上ハ一應輸入鹽ニ頼ラウ、斯ウ云フ方
針ヲ執ツテ居リマス、ソレカラ爲替ノ
相場ニ依リマシテ、輸入鹽ハ大體「ア
メリカ」、ソレカラ紅海地方、「レッド・
シー」デアリマス、ソレカラ北支、蘇
灣、斯ウ云フ各地カラ參リマスカラ、
價格モ色々デアリマス、ソレカラ國內
ノ專業製鹽モ、地域ニ依ツテ、買上ノ
收納價格ガ非常ニ變ツテ居リマスガ、
賣渡シノ價格ハ一本建トシテ居ルノガ
現在デアリマシテ、將來モ其ノ方針デ
進ンデ行ク考デアリマス、此ノ場合ニ
價格ノ補償ト云フ點モ、一部ノ能率ノ
惡ノ國內專業製鹽者ニハ起ルコトモ考
ヘテ居リマス

○河端作兵衛君 總動員法ノ定ムル統
制違反ガ戰時中澤山、恐ラク最大ノ「レ
コード」ヲ破ツテ居ルノデヤナйка、
斯ウ想像サル、程澤山ノ違反者ヲ出シ
處罰ヲサレテ居ルノデアリマスガ、總
動員法モ最近ニ終リヲ告ゲテ、此ノ臨
時物資需給調整法案ニ變リ、矢張り同

ジヤウニ統制違反ヲスル者ガドツサリ
出來ヨウト想像サレマス、之ニ對シマ
シテドウ云フ風ナ御考ヲ持ツテイラツ
シヤルカ、之ヲ承リタイト存ジマス、
殊ニ稀ニ見ル程ノ種々ナ罰則ヲ設ケテ
居リマス、甚ダ此ノ施行ノ宜シキヲ得
ナイ時ニハ、實ニ憂慮スベキ恐怖、惴
惴ノ果ニ陷ルヤウナコトニナリヤセ
カト云フコトヲ私ハ顧慮致シマス、殊
ニ將來ノ此ノ對象ナルベキモノハ恐
ラク小中商工業者、ソレ等ガ是等ノ對
象ナルベキモノト想像サル、ノデア
リマスガ、日本ノ再建ハ、恐ラク此ノ種
ノ業者ニ依ツテ日本ノ再建ヲシナケレ
バナラス、斯ウ云フ時期ニ際シテ居
ルニ拘ラズ、殊ニ政治ノ季節ニ入りマ
シテ之ヲ政爭ノ具ニ供シテ惡用スルヤ
ウナ者ガアルナラバ、日本ノ産業ノ芽
生エノ時期ニ於テ、恐ラク甚ダシキ障
碍ヲナスノデヤナйка、私ハ斯ウ云フ
風ナ感ヲ懷キマス、勿論當局ニ於カセ
ラレマシテモ、之ニ對スル相當ナ用意
ガナケリヤナラスト私ハ存ジマスルガ
之ニ對スル御用意ガアルナラバ是非承
リタイト存ジマス

○政府委員(吉田俊二郎君) 此ノ物資
需給調整法ノ罰則ハ、非常ニ重イ處罰
ヲ以テ規定致シテ居リマス、此ノ罰則
ノ關係ハ、先般モチヨツト御説明申上
ゲマシタガ、物價統制令ト云フ「ボツ
ダム」勅令ガゴザイマシテ、ソレト同
等ノ罰則ヲ置イタノデゴザイマス、非
常ニ重イ罰デゴザイマシテ、從來ノ刑

罰法規ニ比ベマスト一番最高ノモノデ
ゴザイマス、併シナガラ是ハ固ヨリ斯
ウ云フ罰ヲ科スルノガ主ナル狙ヒデハ
ゴザイマセヌ、唯、經濟ニ攪リマスル者
ガ、此ノ安定本部デ出來マシタ産業復
興ノ政策ト云フモノニ、協力シナイ場
合ノ處罰ハ是々ニ値スルト云フコトヲ
書イタノデゴザイマシテ、實際ノ運用
ニ當リマシテハ、第二條等ニモゴザイ
マスルヤウニ、産業團體ガ自ラ自治的
ニ統制ヲシテ行ク譯デゴザイマシテ、
而モ其ノヤリ方等ニ付キマシテハ、業
者ノ發意ニ大體ノ重點ヲ置キマシテ運
用セラレルコトニナツテ居リマス、即
チ業者ノ人達ノ理解ニ依ル統制ト云フ
コトデ進ム譯デゴザイマス、民主的ニ
組織セラレタ産業團體、或ハ構成員ノ
議決ニ基キテ、色々ナ統制ヲ實施スル
ト云フヤウナコトハ、正シキ業者ノ理
解ノ下ニ運用サレル統制デアアル、勿論
全般的ノ國家的ノ計畫ニ付キマシテハ
經濟安定本部ニ於テ決メテ譯デゴザイ
マスガ、其ノ枠内ニ於キマシテハ、サウ
云フ全般ノ事實ヲ能ク了解サレマシテ
實施スル統制デゴザイマスルカラ、其
ノ點ハ能ク業者ト云フ者ハドウ云フ點
ヲ守リ、ドウ云フ行動ヲシナケレバイ
カスカト云フコトヲ納得セラレテ實行
セラレテ行クコトデアアルト、斯ウ考ヘ
テ居リマス、總動員法等ニ於キマシテ
ハ專ラ戰爭目的ノ爲ニ戰力ヲ充足スル
爲ニ、無理矢理ニ引張ツテ行ク統制デ
アツタノデゴザイマスルカラ、當業者

ノ方々ノ御理解如何ニ拘ラズ、必要已
ムヲ得ズ引摺ラレテ行ツタト云フヤウ
ナ統制デゴザイマシタ爲ニ、兎角ニサ
ウ云フ點ノ理解ガ乏シクテ、色々ノ違
反事件モ起ツテ居ツタノデゴザイマス
ガ、今後ハ能ク納得ノ行ク統制ノ下ニ
行動セラレル譯デゴザイマスカラ、違
反セラレル方ハ非常ニ少カラウト考ヘ
テ居ル譯デゴザイマス、併シナガラ他
ノ同ジ同業者ノ方ガ統制ヲ守ツテ居ル
ノニ中ニ統制ニ違反スルト云フ方ガ
レバサウ云フ方ニ付テハ、矢張り相當
ノ嚴罰ヲ以テ臨ムト云フコトヲ、此ノ
法ノ建前ニ致シタノデゴザイマス、尙
實際ノ運用ニ當リマシテハ、此ノ第三
條等ニモ規定致シテ居リマスルヤウ
ニ、從來ノ法律デアリマスルト、必要ナ
事項ニ付テ、必要ナ場所ニ「臨」
檢モ出來、檢査モ出來ルト云ツタヤウ
ナコトデ、ソレニ對シテ一々罰則ヲ科
シテ居ツタノデゴザイマスルガ、今回
ハ斯ウ云フ臨檢檢査ノ規定等モ、先ツ
一應報告ヲ徴シ、報告ガ出ナカッタ場
合、或ハ其ノ報告ガ虛偽デアルト思ハ
ル、場合等ニ於テ、初メテ臨檢檢査ガ
出來ルト云フヤウナコトモ細カニ規定
致シマシタシ、又報告ヲ徴收致シマス
ル相手方ト云フモノモ此處ニハツキリ
掲ゲマシシ、又何デモ從來ハ報告ヲ徴
收ガ出來タノデアリマスルガ、今回ハ
專ラ第三條ノ一號乃至四號ニ掲ゲテ居
リマスル事項ダケニ付テノ報告シカ取
リ得ナイト云フヤウナコトデ、當事者

ノ服スベキ義務ノ範圍ヲ非常ニ限定セ
ラレ、明確ニセラレテ參ツテ居リマス、
從ツテ之ニ對スル違反ト云フモノモ非
常ニ明確ニセラレテ居ル譯デゴザイマ
スルカラ、今後ニ於キマシテハ、圖ラ
ズモ、斯ウ云フ罰則ニ遭フコト云フヤウナ
コトガナイヤウニ運用サレルコトデハ
ナカラウカト考ヘテ居リマス、全般的
ニ申シマシテ、此ノ處罰ヲスルノガ目
的デハゴザイマセヌ、此ノ産業ノ回復
ノ爲ニ此處一年半、最長一年半ノ間、
物資ノ割當ナリ、或ハ特別ノ命令ナリ
ヲ致シマスル場合ニ對スル民間業者ノ
方々ノ御協力ヲ期待シテ居ル譯デアリ
マシテ、處罰ハ此ノ最高限度迄行ク必
要ハゴザイマセヌ、此ノ法規ヲ皆ノ方
方ニ守ツテ戴キマシテ、産業ノ回復ノ
一日モ速カナラムコトヲ期シテ居ルト
云フ次第デアリマス

○河端作兵衛君 私人希望ヲ述ベタイ
ト思ヒマスルガ、此ノ法律ハ、要スル
ニ生産ノ増進ニアルト云フ風ナコトガ
目的デゴザイマスルカラ、御承知ノ通
リ小サイ商工業者ノ如キ者ハ、殆ド家
庭工業ニ類似スルヤウナ仕事ガ多イノ
デアリマス、工場労働ニ從事シテ居ル
従業員トハ、多分ニ其ノ考ヘ方ヲ異ニ
シテ居リマス、從ツテ可ナリ努力モシ
寢ル目モ變ズニヤルヤウナ事情ニ置カ
ル、ト思フノデアリマス、處ガ、不幸
ニシテ是等ノ希望スル、所謂生産意欲
ニ達セザル風ニ資材ヲ與ヘナイト、只
今申上ゲタヤウナ結果ヲ招致スル、各

各日本ノ再建、皆各府デ擔當スベキモノデアリマスガ、殊ニ小サイ工業商業或ハ中位ノ工業商業ト云フ風ナモノニ對スルノ期待ハ甚大デアリマス、此ノ際本當ニ、眞劍ナル國民ノ總テノ機關ヲ動員スルコトガ急務デヤナカ、我々ハ戰時中ニ仕事ヲヤツテ居リマシテ、可ナリ迷惑ヲ感ジタ、人デアリマスルガ、先ヅ官吏諸君ニ勤務ノ一層ノ御奮發ヲ御願ヒシタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ當時カラ痛切ニ考ヘテ居リマス、先ヅ局長サンハ課長サンヨリ五分デモ十分デモ先ニ出テ居ツテ居サイ、課長サンハ係長サンヨリハ先ニ出テ下サイ、サウ云フコトニ致スナツバ、恐ラクハマダ「總テノ仕事ガ拂ドルノデハナイカト云フコトヲ、私ハ仕事ヲヤリツ、考ヘマシタ、ソレハ甚私ノコトヲ申シテハ誠ニ相濟マヌノデゴザイマスルガ、私ハ朝六時ニ工場ニ出テ居リマス、現在デモ出テ居リマス、ソレガ私ノ日課ニナツテ居リマスルガ、ドウカ、六時ニ官廳ニ出テ戴クト云フノハ、甚ダ是ハ申シ難ネタコトデゴザイマス、凡ソ常識上判斷シマシテ、出勤ヲシナケレバナラナイト云フ時間ニハ先ヅ上ノ方ガ先ニ出テ戴クト云フ風ナコトナヲ御願ヒシナケレバ、是ハ將來ナカノ復興ガムヅカシイ、例ヘバ此處ノ建物カラ隣ノ建物ヘ行クノ書類ガ一週間ヅ、モ掛ルコトガ、恐ラクハ過去ニ於ケル常道デアリマシタ、判コノ三ツモ頂戴スルヤウナコトニナルト

結局一箇月半モ掛ツテシマフ、サウシテ其ノ資料ノ割當ヲ頂戴スル時分ニハ資料ガ要ラナクナツテシマフ、ツイ止ムニ止マレズ、闇ノモノヲ買フト云フコトガ、要スルニ統制違反ノ恐ラクハソレガ原因デアアル、若シモ現在ノ機關ガ戰時中ノヤウナコトヲヤツタナラバ又先程申シマシタヤウナ統制違反、恐ラク國民ガ懷ヘ上ツテシマヤウナ數ノ違反者ヲ出スノデハナイカ、斯ウ考ヘマス、何分國家モ未曾有ノ危機ニ遭遇致シマシテ、殊ニ斯クノ如ク、尙統制ヲドウシテモ御願ヒシナケレバナラナイト云フ風ナ狀況ニアリマス、實ニ遺憾ノ極ミデゴザイマスガ、ドウカ一日モ早ク、斯クノ如キ狀態ヲ脱却スルコトガ御互ノ義務デアリマス、就キマシテハ其ノ一番眼目ヲ成ス行政部面ニ私ハ御願ヒスルノデアリマスルガ、是非一ツ、一層ノ御奮發ヲ願ツテ、此ノ現在ノ法案ノ趣旨ニ副フヤウナ、ドウカ結果ヲ齎シテ戴キタイ、是ガ私ノ御願ヒデゴザイマス。

○政府委員(吉田悌二郎君) 只今ノ仰セノ事々、皆私共身ニ泌ミテ感ズル所デゴザイマス戰時中、色々ナ仕事ヲ忙シクヤル際ニ於キマシテモ、御話ノヤウニ一ツノ書類ガ隣ノ課ニ行キマスノニ、二日モ三日モ掛ルト云フコトガゴザイマシテ、自分デモ誠ニ呆レテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ戰後進駐軍アタリノ仕事ノシ振リヲ見マスト、非常ニ良イサウデゴザイマシ

テ、無論ハ軍ノ方デヤルカラデモゴザイマセウガ、非常ニ我々トシテ學ブ所モ多イノデゴザイマス、段々官吏制度モ改革ヲセラレマシテ、非常ニ仕事ガヤリ易クナル形ニハ仕向ケラレルト思ヒマスガ、矢張り其ノ職ニ携リマス者ノ心構ヘデアラウト思ヒマス、又、只今仰セノ統制機關ノ仕事振リモ、非常ニ業者ノ方々ニ御迷惑ヲ掛ケテ居ルト云フ御話デゴザイマシタ、是モサウ云フコトガ多クアツタノデゴザイマス

今後ハ此ノ民主的ト云フ言葉ヲ盛ニ使ツテゴザイマスガ、同業者ノ方ガ矢張りサウ云フ機關ヲ督勵シテ戴キマシテ從來ノヤウニ統制機關ガ業者側ヲ顧デ使フヤウナ態度ヲスツカリ變ヘマシテ會員ノ方、組合員ノ方ガ、其ノ統制機關ヲ本當ニ手足ノヤウニ使ツテ、仕事ノ補助ヲサセルト云フヤウナ意味ニ、所謂民主的のナト云フ意味ヲ取り、大イニ御活動願ヒマスコトニ依ツテ、逐次サウ云フ方ノ活動モ迅速ニ參リマスマヤウニ御監督モ願ヒタイと思ヒマスシ、役所ノ方モ、又特ニサウ云フコトヲ統制官ノ方ニモ勸メテ豫定デゴザイマス

只今ノ御言葉ハ、關係各局ノ方面ニモ能ク申傳ヘマシテ御趣旨ヲ體スルヤウニ致シタイト考ヘマス
○長岡半太郎君 此ノ需給ノ物資ノ品質ハ何處デ御鑑定ニナル譯デゴザイマスカ、役所デオヤリニナル譯デスカ、ソレトモ「メーカー」ノ方カラ「メーカー」ト言フカ、供給者カラ言ツテ來

タノデ御配給ニナル譯デゴザイマスカ是ハ非常ニ工業ニ關係ガアリマスノデス
○政府委員(吉田悌二郎君) 配給致シマス資料ノ品質ノ問題、是ハ非常ニ貴重御質問デゴザイマスガ、是ハ今日迄直接ニ品質ニ付テ特別ノ注文ヲ附ケマシタ物ノ外ハ、原則的ニハ、ソレゾ「メーカー」ノ矢張り何ト申シマスカ、責任ニ於テ確保サレテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ統制團體ナリ官廳ナリガ直接此ノ品質ニ付テノ良イ惡イト云フコトヲ判定スル仕事ヲヤツテ居リマセヌ「メーカー」ノ矢張り責任ニ於テ良イ物ヲ出スト云フヤウナ建前ニ從來ナツテ居ルノデゴザイマス

○長岡半太郎君 サツキ鹽ノ關スル御質疑ガアツタヤウデゴザイマスガ、其ノ時ニ序ニ申上レバ宜カツタノデゴザイマスケレドモ、ドウモ電氣製鹽ト云フカ、色々ナ新ラシイ化學的ノ考モアルヤウデアリマスケレドモ、出來タ鹽ノ「ビュリテイ」ガ、是迄モ我々ガ使ツテ居タ「ビュリテイ」ト同ジデナケレバ比較ニナラヌト思ヒマス、鹽ノ原料トシテ「ソーダ」工業ヲヤツテ見テモ、苛性「ソーダ」ヲ造ツテ見テモ若シ其ノ中ニ不純物ガ澤山アツテ、一緒ニ出テ來タ場合ニ於テハ、場合ニ依ツテハ、殆ド或物ニ依ツテハ役ニ立タヌヤウナモノガ出來テ來ル、ソレデ尙「ビュリテイ」ノ如何ヲ顧ミズ議論ヲシテ居ツタナラバ、「トン」數ナドノ

議論モ、若シ不純物ガ入ツテ居ルトスレバ、殆ド意味ヲ成サヌヤウナコトナリマスガ、ドノ位ノ「ビュリテイ」ヲ持ツテ居ルモノヤラ、第一醫藥ニデモスルナリ、或ハ家庭ノ食料ニ使フトスルナラバ、鹽化「マグネシウム」ハドノ位ノ所迄除シテ居ルカ、其處ラノ所ガ、餘程曖昧ニ私ノ頭ニハナツテカラニ、其ノ「ビュリテイ」ノ議論ガナケレバ、幾ラ「トン」數ガ餘計ニナツテモアンマリ喜バシクナイ、又「ビュリテイ」ガ良ケレバ、是非非常ニ歡迎スル所デアリマスガ、愈々使ツテ見テカラニ、是ハ數量ハアルケレドモ、一向役ニ立タヌモノデアルト云フヤウナコトガ言ハレルヤウニナレバ餘リ議論スル餘地ガナイヤウニ思ヒマス、其處ニ頗ル疑惑ヲ懷イテ居リマス其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 特ニサウ云フ「ビュリテイ」等ノ特別ニ必要ナモノニ付キマシテハ、今後恐ラク産業團體ニ於キマシテ、検査ナリ、或ハ保證ナリノ制度ヲ實行シテ戴クトニナラウト思ヒマス、醫藥品等ニ付テハ藥局方ノ證明ガ出來テ居ルノデアリマスガ、原材料ニ付テハ、マダ其ノ方ノコトガ少イヤウデゴザイマス、ノミナラズ、只今ハ非常ニ供給ガ逼迫シテ居リマス關係デ、惡イモノノ、マア石炭ナドノ例ヲ取リマシテモ能クアルノデアリマスガ、非常ニ「カロリー」ノ低イモノガ、例ヘバ五千「カロリー」ノ

物モ三千「カローリ」ノ物モ一緒クタニシテ、何「トシ」取レタト云フヤウニ申シテ居リマス、又配給モサウ云フコトニナツテ居リマシテ、折角炭ノ配給ガアツテモ、是デハ製鐵用ニ使ハレナイト云フヤウナコトガ澤山ゴザイマシテ、非常ニ今此ノ點ノ、何ト申シマスカ、品質保持ト云フコトニ付テ、何カノ制度ヲ作ラネバイカヌノデゴザイマスガ、如何セム、非常ニ品物ガ逼迫シテ居リマスノデ、サウ云フコトガ起ツテ參ッテ居ルノデアリマス、逐次増産ガ出來マスニ隨ヒマシテ、サウ云フ點ハ矢張り責任ヲ持ツテ、「メーカー」ガ製造スル方ノ責任ニ於テ、品質ノ保持ガ出來ルコトガ、先ヅ第一デアリマスルガ、又サウ云フコトガ實行困難ナ場合ニハ、産業團體ノ力ニ依ツテ検査制度ナリ、又ハ證明、保證ノ制度ナリヲ實施スベキモノト考ヘテ居リマス、此ノ法律ト致シマシテハ、取敢ズ増産ニ非常ニ重點ヲ置キマシテ、需給ノ特別ニ逼迫シタ今日ニ於キマシテノ制度デゴザイマスルカラ、直接其ノ検査ノ制度ハ表ニ出シテ居ラヌノデゴザイマス、但シ商工協同組合ト云フモノガ是ハ中小商工業ノ方ノ施設デゴザイマシテ、近ク貴族院ノ方ニモ御審議ヲ願フ譯デアリマスガ、此ノ方ニ付キマシテハ、組合員ノ製品ノ検査制度ヲ實施致シマシテ、中小商工業ノ持ツテ居リマスル色々ナ生産上ノ弱點カラ致シマシテ、品質ノ落ちルト云フコトヲ保持

スルト云フコトハ考ヘテ居リマスガ、需給調整ノ方ニ於キマシテハ、主トシテ大「メーカー」ノ製品ヲ狙ツテ居リマスノデ、其ノ點ニ付テノ配慮ガ出來テ居ラヌノデゴザイマス

質問ガゴザイマシタガ、ソレニ關聯致シマシテ伺ヒタイノデゴザイマスガ、御話ノヤウニ本法ノ罰則規定ハ非常ニ嚴シイモノダト思フノデアリマスガ、然ルニ此ノ統制ヲ實施シマス末端ノ官衙ナリ統制機關ノ役職員ニ付キマシテ技術上、各方面カラ色々ナ兎角ノ批評ヲ聞クノデアリマス、處ガ斯カル公務員ト申シマスガ、統制ニ從事スル者ハ實ニ國家ノ代行機關デアリマシテ、其ノ一舉手一投足ハ寧ろ國民ノ範トナルベキ當然ノ筋合ノモノデゴザイマス、處ガ、其ノ統制機關ノ役職員ノ行爲ニ對スル色々ナ問題ニ對シマシテ、此ノ罰則ノ規定ト比ベマシテ如何ナル罰則ガ適用サレテ居リマスルカ伺ヒタイト思ヒマス

則ガ低イヤウデアリマス場合ニハ、矢張り戰時ハ別トシテ、今後相當問題ニナルノデヤナイカト思ヒマス、公務員ノ罰則ノ内容ハドンナ風ナモノデアリマスカ

規定上ソレヲ融通スルコトガ出來ナイ斯ウ云ツタヤウナ問題ガアツタノデアリマスガ、終戰後ノ今日ハ、縦シンバ軍ガナイニシマシテモ、進駐軍用等ニ付キマシテ特別ナ需要ノモノガアルカモ知レナイト思フノデアリマス、サウ云ツタ場合ニ、矢張り其ノ間ニハ今ノ日本ノ現状カラシマスレバ、進駐軍ノモノニ對シテハ是非トモ完遂シナケレバナラスト云フコトニ置カレルト思フノデアリマス、サウ云ツタヤウナ場合ニハ、特例デモ認メテ戴ケルモノデゴザイマセウカ

○長岡太郎君 新ラシイ裝置ヲ使ヒ或ハ機械ヲ使フ時ニハ、ドウモ餘程詳細イノ検査ヲヤツタ後デナケレバ使ヘナイノデアリマシテ、電氣製鹽法ト云フノハ、今御話ヲ承リマスルト云フト、餘リ從來使ハナカッタ方法デアリマスルガ、ソレガ餘リ人間ノ身體ニ工合ノ良クナイ、而モ食ツタ後ハ下痢ヲ起スト云フヤウナ變化「マダネシウム」ノヤウナモノガ入ツテ居ルトスレバ、是ハ餘程困難ナ問題ニナリマスルカラ、其ノ方ハ實施サレル前ニ、既ニ御検査ニナツタノデアリマセウカ、或ハ又電氣ヲ使フト云フコトハ、變化「マダネシウム」ヲ取ル時ニ、既ニ「マダネシウム」ノ入ツタモノト一絡ニナツタモノノ後デ又處理サレルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(吉田悌二郎君) 應ノ方ハ政府ノ專賣デゴザイマシテ、大藏省ノ方ノ所管デ、實際ドウヤツテ居ラレマスガ、私能ク存ジマセヌノデアリマスガ、恐ラク品質ニ付テノ検査ハ、直接ニハ行ツテ居ラレナイカト思ヒマス、其ノ點ハ改メマシテ一遍大藏省ニ能ク伺ヒマシテ、御答ヘシタイト思ヒマス

○男爵田中龍夫君 只今罰則ノコトニ付キマシテ、チヨット他ノ委員カラ御質問ガゴザイマシタガ、ソレニ關聯致シマシテ伺ヒタイノデゴザイマスガ、御話ノヤウニ本法ノ罰則規定ハ非常ニ嚴シイモノダト思フノデアリマスガ、然ルニ此ノ統制ヲ實施シマス末端ノ官衙ナリ統制機關ノ役職員ニ付キマシテ技術上、各方面カラ色々ナ兎角ノ批評ヲ聞クノデアリマス、處ガ斯カル公務員ト申シマスガ、統制ニ從事スル者ハ實ニ國家ノ代行機關デアリマシテ、其ノ一舉手一投足ハ寧ろ國民ノ範トナルベキ當然ノ筋合ノモノデゴザイマス、處ガ、其ノ統制機關ノ役職員ノ行爲ニ對スル色々ナ問題ニ對シマシテ、此ノ罰則ノ規定ト比ベマシテ如何ナル罰則ガ適用サレテ居リマスルカ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉田悌二郎君) 此處ニ指定致シマス統制團體ノ役職員ノ濫職ノ規定デゴザイマスガ、是ハ「經濟關係罰則」ノ整備ニ關スル法律ト云フノガゴザイマシテ、此ノ役職員ハ公務員ト其ノ規定ニ依ツテ看做サレマシテ、所謂濫職ノ罪ガ適用サレルコトニナツテ居リマス

○男爵田中龍夫君 其ノ濫職ノ所謂罰則ト云フモノト、此ノ統制ノ行ハレルニ付キマシテ、各般ノ色々ナ統制規定ノ間ニ必然ノ起ツテ來ル已ムヲ得ザル色々ナ違反ガ、現場デハ多々今迄アツタト思フノデアリマス、サウ云フ風ナ場合ニ比ベマシテ、若シ此ノ罰則ヨリモ尙範トナルベキ統制機關ノ者ノ罰

則ガ低イヤウデアリマス場合ニハ、矢張り戰時ハ別トシテ、今後相當問題ニナルノデヤナイカト思ヒマス、公務員ノ罰則ノ内容ハドンナ風ナモノデアリマスカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 只今刑法ヲ取寄セマシテ申上ゲマス

○男爵田中龍夫君 尙統制規定ガ各物資別ニ色々出テ來ルト思ヒマスガ、其ノ統制規定ノ中カラ、戰時中ナドデモ當然現場トシマシテハ二元的、三元的ニナツテ居リマス關係デ、右ニ從ヘバ左ノ方ニ觸レル、左ニ從ヘバ右ノ方ニ觸レルト云フ場合ガ多々アツタノデアリマスガ、今後ハサウ云ツタ問題ニ對シマシテハ、特ニ何等カノ特免ノ規定ノヤウナモノデモ出來ルノデアリマス

○政府委員(吉田悌二郎君) ドジ云フ例デゴザイマセウカ、サウ云フノヲ私餘リ聞イテ居リマセウカ、實例ガアリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○男爵田中龍夫君 其體的二申シマスレバ、二ツノ省ノ間ニ根本ノ二理念ノ相違シタモノガ今迄多々アツタト思フノデアリマス、戰時中デゴザイマス軍ノ要請ニ從ツテ生産ノ期日ガ定メラレテ居リマシテ、非常ナ急速生産ト云フモノガ命令ノ出テ來ル、ソレデ若シソレニ從ハナイ場合ニハ、色々ナ解約其ノ他ノ問題トカ、サウ云フ風ナモノガ起ツテ參リマシテ、他方色々ナ不足ノ隘路資材ガ眼前ニアツテモ、統制

規定上ソレヲ融通スルコトガ出來ナイ斯ウ云ツタヤウナ問題ガアツタノデアリマスガ、終戰後ノ今日ハ、縦シンバ軍ガナイニシマシテモ、進駐軍用等ニ付キマシテ特別ナ需要ノモノガアルカモ知レナイト思フノデアリマス、サウ云ツタ場合ニ、矢張り其ノ間ニハ今ノ日本ノ現状カラシマスレバ、進駐軍ノモノニ對シテハ是非トモ完遂シナケレバナラスト云フコトニ置カレルト思フノデアリマス、サウ云ツタヤウナ場合ニハ、特例デモ認メテ戴ケルモノデゴザイマセウカ

○政府委員(吉田悌二郎君) 一ツノ資材ガ二ツ三ツノ用途ニ取リ合ニナルト云フ場合ニ、ドチラヲ優先ニスルカト云フ問題デゴザイマスガ、固ヨリ假ニ其ノ例トシテ進駐軍ノ例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、日下進駐軍ノ設置用ノ資材ヲ優先ノ進駐軍ニ廻シテ居リマスサウ云フモノニ付キマシテハ、他ノ用途ニ使ヒマスモノハ順位ガ後ニナリマシテ、チヨットシカナイト云フ場合ニハ、進駐軍ノ方ニ廻シテシマフ、斯ウ云フコトニナリマス

○男爵田中龍夫君 昨日來色々統制ノ内容ニ付キマシテ承ツタノデアリマスガ、今同行ハレマス物資ノ統制ガ、物動ノ形式カラ申シマス、素材物動デアリマシテ行ハレルトシマスルト、例ヘバ進駐軍需用ト云フヤウナモノハ矢張り進駐軍向ケトシテ素材配當ガ最終消費者タル進駐軍ニ對シテ行ハレルノ

○政府委員(吉田悌二郎君) 一ツノ資材ガ二ツ三ツノ用途ニ取リ合ニナルト云フ場合ニ、ドチラヲ優先ニスルカト云フ問題デゴザイマスガ、固ヨリ假ニ其ノ例トシテ進駐軍ノ例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、日下進駐軍ノ設置用ノ資材ヲ優先ノ進駐軍ニ廻シテ居リマスサウ云フモノニ付キマシテハ、他ノ用途ニ使ヒマスモノハ順位ガ後ニナリマシテ、チヨットシカナイト云フ場合ニハ、進駐軍ノ方ニ廻シテシマフ、斯ウ云フコトニナリマス

○男爵田中龍夫君 昨日來色々統制ノ内容ニ付キマシテ承ツタノデアリマスガ、今同行ハレマス物資ノ統制ガ、物動ノ形式カラ申シマス、素材物動デアリマシテ行ハレルトシマスルト、例ヘバ進駐軍需用ト云フヤウナモノハ矢張り進駐軍向ケトシテ素材配當ガ最終消費者タル進駐軍ニ對シテ行ハレルノ

デアリマセウカ、ト申シマスノハ、若シ進駐軍ガ機械等ノモノガ必要デアルト云フ場合ハ、ソレハ丁度元ノ軍需ノヤウニ切符支給トカ、現物支給トカ云フヤウナ關係係、工業組合ノ方ニ流レノデアリマセウカ、ソレトモ、括工業組合ニ流レマシテ、ソレヲ製品トシテ納入スル恰好ニナルノデゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(吉田徳二郎君) 物ニ依ツテ色々アルノデス、一應現物ヲ進駐軍ニ引渡シマシテ、進駐軍カラ工場ノ方ニ原材料ヲ送り廻ケルモノモゴザイマス、又進駐軍ノ注文ヲ政府ガ代行シテ注文スル譯デアリマスガ、サウ云フ場合ニハ、其ノ工場ニ對シテ資材ノ割當ヲスル、切符ヲ切リ、斯ウ云フモノモゴザイマス、色々物ニ依ツテ違ヒマスシ又使フ場所ニ依ツテモ多少違フテ居ルヤウデアリマス

○男爵田中龍夫君 今迄ノ所謂最終消費者デアル軍ダトカ、其ノ他生産擴充ノ各工場トカ云フヤウナモノニ對スル問題ハ、今ノ最終需要者別配當デアリマシテ、ソレカラ其ノ他、ソレガ同時ニ製品ヲ購入スル時ニハ工業組合別ノ配當ガ行ハレタノデアリマシテ、其ノ間ニ二元のニナツテ、詰リ配當ノ形式上カラ言ヒマス、二元のニナツテ居リマシテ、其ノ點ハ纖維トカ「ゴム」トカ云フ風ナモノハサウナツテハ居リマセヌガ、鐵デアリマストカ、非鐵金屬デアリマストカ、サウ云ツタモノハ

二元化サレテ居ツタノデアリマス、其ノ間ニ一面統制ガ弛緩スル原因ガアツタノデゴザイマス、今後ハ詰リ日本國內ノ需要ニ對シマシテハ一括、例ヘバ大枠ニ進駐軍用ト民需用ト云フ風ニ二本建程度ノ區分ニナリマスカ、ソレトモモット細分化サレテ參リマスカ、何かソレニ依ツテ大分統制ノ内容ガ變ツテ來ルト思ヒマス

○政府委員(吉田徳二郎君) 御手許ニ差上ゲテアリマス所ノ物資需給計畫七月、九月ノモノガゴザイマス、其ノ中ニ進駐軍用ト云フ項目ガアリマス、是ハ直接進駐軍ニ渡ス品物ノ量デアリマス、其ノ他ニ各物資別ノ中ニ、進駐軍用ノ注文ノ資材ガ全部人ツテ居リマス、是ハ進駐軍ノ注文ノアリマシタ都度、其ノ工場ニ流スノデアリマス、進駐軍用ノ各種ノ品物ハ、政府ガ先ツ發註ヲ致シマス、例ヘバ宿舍建設用ノ資材或ハ斯ウ云フ家具類「モーター」ト云フヤウナモノハ、日本政府ガ發註致シマス、發註スルト同時ニ、資材ノ割當ヲ其ノ工場ニ致シマス、組合等ヲ使ツテ居リマセヌ、直接工場ニ對シテ割當ヲ致シテ居リマシテ、其ノ團體ヲ使ツテ居リマセヌ、直接政府ノ注文デ政府ガ割當ヲスル斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○子爵森俊成君 折角大臣ガ御忙シイ所ヲ御見エニナツテ居リマスニ付テ、私極ク簡單ニ攝イ摘ンデ御尋ネシタイト思ヒマス、先達テ衆議院デ以テ、當局カラ調整法案デ以テ配給會社ニ指定スル會社ハ、例ノ在來ノ官制統制會社ヲ、官制のモノヲ民主的のモノニ改メテ、且其ノ内容等ノ陣容ト云フヤウナモノヲ改メルト云フヤウナ御答ガアツタト記憶シテ居リマス、大臣モ御承知デハゴザイマセウガ、從來ノ統制會社ノ中デ、其ノ全部トハ申シマセヌケレドモ、中ニハ相當非難ヲ受ケテ居ルモノモアルヤウニ聞キ及ンデ居ルデアリマス、此處デ以テ産業ガ開發、再建ノ途ニアルト云フヤウナコトヲ考ヘテ見マスルト、是ハナカ／＼ノ重要ナル問題デヤナカト考ヘラレルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト、例ノ石油配給統制會社ノヤウナモノデアリマスルガ、是ハ先達テ株主總會ヲ開キマシテ、名前ヲ統制ト云フ字ヲ削リマシテ配給株式會社トナリマシタ、無論是ハ當局ノ御了解モアツタノデアリマスガ其ノ内容ハ、從來ノ舊役員全部ガ少シモ改ツテ居ラナイノデアリマス、勿論業者ガ戰爭ノ際、戰爭中ニハ軍用ノ所要石油類ノ配給ヲ獨占シテ、サウシテ戰爭遂行ニ協力シタト云フコトハ、是ハ其ノ通りデアリマス、デアリマスカラ、一方終戰ト同時ニ、其ノ配給方法ニ付テ非常ニ面白クナイコトナンカモアツテ、需要者側カラ非常ナ非難ノ的トナツテ居ルノデアリマス、ソレデハ、三ノ刑事問題等モ起シタト云フヤウナコトモ聞キ及ンデ居ルノデアリマス、マア申上ゲレバ、尙他ニモ思ハシカラザ

ルコトガアルノデアリマス、是ハ一例ニ過ギナイノデアリマスルガ、斯ウ云フ風ナ會社ガ單ニ名前ヲ變ヘテ表面ダケヲ變シテ居リ、内容ニ於テハ變リガナイ、是デハ折角ノ經濟新發足ト申シマスカ、産業再建ト申シマスルカ、是ハ幾ラ當局デ以テ御盡力ニナツタコロデ以テ何モ役ニ立タナイコトデハナイカト思ヒマス、デアリマスルカラ、折角此處デ以テ再發足ヲスルト云フノデアリナラバ當局ニ於キマシテハ、此ノ種ノヤウナ弊害ト云フヤウナモノガ將來起リナイト云フヤウナコトニ付テ、大臣ハ何カ十分ノ御確信ヲ持ツテ居ルカドウカ、若シ持ツテ居ラレトスレバ、此ノ點シツカリヤツテ戴キタイト思ヒマス、此ノ點ヲ私伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(星島二郎君) 既ニ此ノ四五ノ統制團體ハ解散ヲ命ジマシタガ、又一昨日ノ閣議ニ於キマシテ、後十四五ノ統制會社、統制團體ガアリマシタノガ、是モ今解散ヲ命ジマシタ、是デ大體戰時型ノ統制機構ノ詰リ中心トナツテ居リマシタモノハ、全部此ノ月末デ影ヲ歿スル譯デアリマス、併シ森子爵ノ仰セラルゝ如ク、實ハ看板ダケヲ塗り變ヘテ、實體ハ大部分殘ル譯デアリマシテ、仕事ノ上ニ於テ差支ガナイヤウニハ凡ソ出来テ居リマスガ、其ノ中ノ一、二ノモノハ、全ク人モ改メナイ、選舉ニ依ツテ出ア來マス所謂重役陣ト言ヒマスカ、其ノ理事陣ハスツカリ改ツタモノモアリマスルシ、ソレ

カラ全ク同じ人デアツテ、唯名目ガ變ツタシタト云フヤウナ、外觀上殆ド何デモナイ、同じモノデヤナイカト云フヤウナモノモ相當アリマス、是ハ其ノ「エキスパート」ト致シマシテ、又其ノ業界ニ人ヲ求メラレス結果其ノヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ一時ニ、率直ニ申シマスレバ、直右カラ左ヘ綺麗ニ變ヘルト云フコトガ、ナカナカ困難ナル場合ガアル、假ニ政治問題デアリマシテモ、追放サレタト云フテモ、議會ガ全部一新シタカト云フトサウハ急ニハ改リマセヌ、何遍カヤツテ居ル中ニ、矢張り本當ノ民主化トナルノデアツテ、サウ言ヘバ、是ハ國民全部ガ實ハ陛下ヲ中心ニ戰爭ヲヤツタノデアリマスカラ、誰一人ダツテ、全部ガ追放サレベキデアリマス、之ガ改レバ、矢張り改ツタ氣持デ仕事ガ出來ル譯デアリマスカラ、今日殘ツテ居リマス者ハ、已ムヲ得ナイ事情ノ爲ニ、人ガ居ナイ爲ニ、又從來ノ機構ガ急變シテハ當面ノ問題ガ困ル爲ニ、實ハ同じ事務所デ看板ダケ塗り變ヘタ統制機構ガ相當アリマス、ソレハ率直ニ認メルノデアリマスガ、併シ尙スツト監視ヲ怠ラズ致シマシテ、所謂從來ノ指導者原理、上カラ臨シタ態度ハチツトモ改ツテ居ナイト云フ點ガアリマスナラバ、ソレハ組合員ノ關係ナラ、組合、或ハ業界ノ人達ナラバ、今度ハ民主的ノ選舉ニ依ツテ選バレナイヤツテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ人ガ全體ニ目覺

カル全ク同じ人デアツテ、唯名目ガ變ツタシタト云フヤウナ、外觀上殆ド何デモナイ、同じモノデヤナイカト云フヤウナモノモ相當アリマス、是ハ其ノ「エキスパート」ト致シマシテ、又其ノ業界ニ人ヲ求メラレス結果其ノヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ一時ニ、率直ニ申シマスレバ、直右カラ左ヘ綺麗ニ變ヘルト云フコトガ、ナカナカ困難ナル場合ガアル、假ニ政治問題デアリマシテモ、追放サレタト云フテモ、議會ガ全部一新シタカト云フトサウハ急ニハ改リマセヌ、何遍カヤツテ居ル中ニ、矢張り本當ノ民主化トナルノデアツテ、サウ言ヘバ、是ハ國民全部ガ實ハ陛下ヲ中心ニ戰爭ヲヤツタノデアリマスカラ、誰一人ダツテ、全部ガ追放サレベキデアリマス、之ガ改レバ、矢張り改ツタ氣持デ仕事ガ出來ル譯デアリマスカラ、今日殘ツテ居リマス者ハ、已ムヲ得ナイ事情ノ爲ニ、人ガ居ナイ爲ニ、又從來ノ機構ガ急變シテハ當面ノ問題ガ困ル爲ニ、實ハ同じ事務所デ看板ダケ塗り變ヘタ統制機構ガ相當アリマス、ソレハ率直ニ認メルノデアリマスガ、併シ尙スツト監視ヲ怠ラズ致シマシテ、所謂從來ノ指導者原理、上カラ臨シタ態度ハチツトモ改ツテ居ナイト云フ點ガアリマスナラバ、ソレハ組合員ノ關係ナラ、組合、或ハ業界ノ人達ナラバ、今度ハ民主的ノ選舉ニ依ツテ選バレナイヤツテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ人ガ全體ニ目覺

メヌ場合ハ、サウ云フモノガ起リ得ル
カモ知レマセヌ、或ハ信望ノ厚イ人ガ
民主的ナ良イ措置ヲ執ツテ居リマスレ
バ、其ノ儘附イテ行クコトト思フノデ
アリマスガ、併シ今回提案致シマシタ
協同組合ノ如キガ、衆議院ノ委員會
ノ様子ヲ見マシテモ、ドウモ看板落リ
變ヘニ過ギヌト云フ聲ガ非常ニアリマ
スノデ、是等ニ付キマシテハ、當局ト
致シマシテハ、十分眼ヲ光ラセマシテ
其ノ實體ヲ擲ンデ行キタイト思ヒマ
ス、殊ニ只今一ツノ例ヲ御舉ゲニナリ
マシタ石油統制機構ノ如キハ全ク民主
的ニナルヤウニ之ヲ指導致シマシテ、
デスケレドモ、出テ來ル人ハ、矢張り
其ノ界ニ人物ガ少イノカ、特殊ナ關係
ヲ有スル爲カ、矢張り業界カラ選バレ
テ來ルト云フコトニナリマスレバ、同
ジヤウナ人ガ矢張り選バレテ來ルヤウ
ナコトニナツテ居ル譯デアリマスガ、
併シ色々ナ弊害モアルヤニ聞イテ居リ
マスノデ、商工省內ニ於キマシテハ、
監察課ト云フモノガアリマシテ、是ガ
明細ナ取調ヲ致シマシテ、之ニ對スル
措置ヲ怠ラナイデ、今後ノ方針ニ十分
善處シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
譯デアリマス

○子爵森俊成君 大臣ヨリ詳細ナル御
答辯ヲ承リマシテ恐縮ニ存ジマス、成
ル程總テノコトハ急ニ改メルコトモナ
カナカムヅカシイデアリマセウ、又實
際御話ノ通り、業界ニ於テ斯ウヤリタ
クテモ、其ノ人ヲ得ラレナイ場合モア
リマセウ、デアリマススケレドモ、兎ニモ
角ニモ、唯看板ノ落リ變ヘニ過ギナイ
ト云フヤウナコトモ、今ノ御話デハ認
メナイノデモナイヤウナ御口吻デゴザ
イマスガ、諒クハ申シマセヌケレドモ
ドウカハ産業業界ノ再建ノ爲ニ、折角
御盡力ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、
終リ

○子爵森俊成君 我ハ簡單ニ二ツバ
カリ商工大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス
ガ、終戰以來、政府ハ常ニ文化國家ノ
建設ト云フコトヲ言ハレ、又再建日本
ノ文化ヲ建設スルト云フコトヲ言ハレ
テ居リマスガ、之ニハドウシテモ文化
的ノ資料、新聞用紙トカ出版用紙、ソ
レカラ寫眞、映畫用ノ「フィルム」ト云
フモノガ、ドウシテモナケレバ文化ハ
發達シナイト思フ、今日迄其ノ箇ニ當
ル毎ニ、商工省其ノ他ノ當局ノ方ガ、
全ク其ノ文化ヲ理解シナイ方ガ之ニ
當ラレタ爲ニ、文化ノ興隆ガ非常ニ阻
害サレタ例ガ澤山アリマス、併シ幸ニ
シテ今度商工大臣ハ非常ニ文化ヲ理解
サレ、又藝術ニモ造詣深イ方デアリマ
シテ、戰時中モ此ノ文化ヲ護ルト云フ
コトニ、野ニ在ツテ文化ヲ護ルコトニ
努力サレタ方デアリマスガ、殊ニ文化
的資料ニ付テノ當面トカ、配給ト云フ
ヤウナコトニ付テ、何カ御意見ナリ御
抱負ガアレバ、伺ツテ見タイト思ヒマ
ス

○國務大臣(星島二郎君) 戰時中ニ情
報局ト云フモノガ出來マシテ、色々名
ハ變ツテハ居リマシタケレドモ、ソレ
ガ兎モスレバ、所謂指導者原理ニ因ハ
レ過ギ、或ハ所謂思想迄モ統制シテ行
カウト云フヤウナ行キ過ギタコトヲヤ
リマシタ爲ニ、今回はハ全部廢止サレ
マシタ、其結果、或ハ「ラジオ」ニ致シマ
シテモ、或ハ新聞、出版等ニ致シマシ
テモ、或ハ映畫等ニ付キマシテモ、今ハ
全ク野放シニナツテ居リマス關係デ、
唯關係筋ノ方デ若干ノ檢閲ヲヤツテ居
ラレルト云フヤウナコトニナツテ居ル
ノデアリマスガ、サリトテ之ヲ又集メ
テ型ヲ決メテ、一ツノ統制ヲシテ行ク
ト云フコトハ、今ヤツテハナラヌコト
デモアリマスシ、又ヤリモ出來ナイコ
トナンデアリマス、ソコデ「ラジオ」ハ
御承知ノ通りニ、逡信省ノ電波局ノ一
課ノ下ニ仕事ヲヤツテ居ル、無論民間
ノ協會ガ中心ニナツテヤツテ居リマス
ケレドモ、政府ト致シマシテハ、監督
官廳ハ逡信省ノ電波局デアル、或ハ新
聞雜誌ノ管理ニ付キマシテハ、商工省
ノ纖維局ノ紙業課ノ三十歳ソコノノ
人ガ課長トシテヤツテ居ルヤウナ譯デ
アリマシテ、ソレ等ハ勿論、紙ノ配給
制當ノミニ參加シテ居ルムデアリマ
ススケレドモ、從ツテ此ノ新聞ハ非常ニ
民主化シテ居ルカラ、大イニ紙ヲ殖ヤ
ス、處ガ、此ノ新聞ハ反動紙デカライ
カヌト云ツテ、紙ヲ減スト云フコトデ
或程度迄ハ啖ヲ容レラヌコトハナイ
ノデスカラ、此處ニ非常ニ危險性ガア
ルノデ、今相當ナ民主的ナト稱セラレ

ル一ツノ會ガ出來テ、其ノ諮問ニ依ツ
テ大體決定ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デ
アル際ニ、私ハ此ノ局ニ當ツタヤウナ
譯デアリマス、私ハ矢張り舊情報局ノ
ヤウナモノヲ設ケマシテ、サウシテ全
體ヲ思想的ニ、或ハ文化的ナ意味ニ於
キマシテ、政府ガ國民ヲ指導シテ行カ
ウト云フヤウナ大反レタコトハ、是ハ
今ヤルベキコトデヤナイト思ヒマス
ガ、併シナガラ日本ハ將來文化國家ト
シテ貢獻スルト云フコトデ、何モ言論
ヲ抑壓シ、或ハ思想ヲ統一スルト云フ
ヤウナ意味デヤナシニ、斯ウ云フ姿デ
行クノダ、殊ニ戰爭放棄後ノ此ノ日本
ハ、本當ナ文化國家ニ於テ、何處ノ國
ニモ負ケナイ、否、或ハ「スイス」ニ
「スエーデン」ノヤウニ、所謂強イ國デ
ハナイケレドモ、文化ヲ誇ツテ、世界
ニ寧ロ其ノ懷レヲ持タスト云フ位迄ニ
行ク爲ニハ、相當意ヲ用ヒナケレバナ
ラヌト云フ考カラ、取敢ズ商工省所管
デアリマシタ此ノ新聞雜誌等ノ此ノ紙
ノ配給ハ、今ハ少イカラ色々ナ問題ヲ
起シテ居リマスノデ、今回出來マスル
經濟安定本部等ニ於キマシテモ、モツ
ト紙ヲ殖ヤス譯ニ行カヌカ、サウスレ
バ「バルブ」ノ工合ハドウスルカト云フ
ヤウナ根本問題ヲ經濟的ニモ考ヘル必
要ガアリマス、或ハ「ラジオ」ハ一體現
在ノ儘便宜イノカ、モウ少シ國民ニモ
ツト受信機ヲ殖ヤシタイ、或ハモツト
農村ニ「ラジオ」ヲ徹底スルヤウニシナ
ケレバナラヌトカ、色々ナ點カラ考ヘ

テ見マシテモ、或ハ「フィルム」ノ製造
或ハ生「フィルム」ノ輸入、サウ云フヤ
ウナモノニ付キマシテモ、モツトノ
映畫ト云フモノヲ、或ハ教育ナリ、國民
娛樂ノ上ニ徹底サセル爲ニハ、何カシ
ラ内閣全體トシテ考ヘル必要ガナイカ
シラト云フコトカラ、私發議致シマシ
テ、所謂文化委員會ト云フヤウナモノ
デモ、内閣ニ設ケマシテ、サウシテ、
其處デ大綱ヲ決メマシテ、其ノ大綱ノ
示ス所ニ依ツテ、ソレノ所管ノ或ハ
商工省ハ新聞紙、雜誌、或ハ逡信省ハ
「ラジオ」、或ハ「フィルム」ノ製造ニ
付テハ商工省、或ハ「フィルム」、映畫
ノ内容ニ付テハ内務省ト云ツタヤウナ
風ニ、何カヤラナケレバナラヌト云フ
コトヲ考ヘ附キマシタ、處ガ、偶々ソレ
ハ舊情報局ノ復活デアルト、斯様ナ誤
解ヲ或部面ニ受ケマシテ、ソレガ若干
停頓致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、
併シ是ハ今少シ他ノ目前ノ政務ガ片
附キマスレバ、是ハ落チ著イテ、サウ急
グ必要ハアリマセヌカラ、一ツ是非ト
モ目的ヲ達成スルヤウニ、ソレ等ノ誤
解ヲ一掃致シマシテ、決シテ舊情報局
ノヤウニ、日本國民ノ頭ヲ引摺ツテ行
クト云フヤウナ考ハ毛頭ナイノデアリ
マスカラ、文化ノ爲ニ政府ガ出來ルダ
ケノコトヲシタイト云フ意味カラ發足
シテ行キタイ、斯ウ思ヒマシタノデ、從
ツテ商工當局ト致シマシテハ、其ノ根
本方針ガ決ツタ範圍ニ於テ、ドウセ不
足物資デアリマスカラ、今後ノ需給調

整法等ニ依リマシテ、其ノ紙ノ分配ヲドウ合理的ニヤツテ行クカ、斯様ナ工合ニ進ンデ行キタイ、併シ一時、マア今ノ商工當局デ少サナ課デ以テ此ノ非常ナ影響ヲ持ツ紙ノ分配ヲ單純ナ一ツノ團體ノ意見ヲ聽イテ扱フト云フコトハ、必ズシモ妥當デナイカラ、今日、内閣ノ中ニ紙ノ割當委員會ト云フモノガ臨時ニ設ケラレマシテ、サウシテ國務大臣ガ之ニ當ツテ、サウシテ、併シ是ハ永久デハアリマセヌ、全體ノ今文化政策ガ、大凡片ガ附キマシタナラバ、ソレハ「仕事ノ實體ハ各省々々デヤル譯デアリマスカラ、凡ソサウ云フ構想ノ下ニ、今日實行致シテ居ル譯デ、現在ノ紙ノ配給機構ハ必ズシモ萬全デヤナイ、日下政府ハ之ニ對シマシテ、十分ノ考ヲ以テ善處シタイ、斯様ニ努力中デアリマス

○子爵京極高親王 モウ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ委員會ニ於テ屢々言ハレル物資、統制ヨリモ、是非増産ニ力ヲ入レル、其ノ爲ニ精神運動ヲ起スト云フヤウナ御質問ガ川上委員カラモ、田中委員カラモ、中山委員カラモ、屢屢是迄伺ヒマシタ、處ガ、之ニ政府ノ御答辯ハ、實ハ餘リニ満足スルモノデナイ、何カ、誠ニ心許ナイト云フヤウナ氣ガスルノデアリマス、是ハ何故カト私ハ思ヒマス、矢張り今伺ヒマシタルト、内閣ガ文化委員會ト云フヤウナモノヲ作ラレル、文化ノ色々ト世話ヲサレルト云フコトハ、甚ダ結構デアリ

マスガ、サウ云フコトヲスル役所、詰リ今差當リ、一番大事ナ石炭増産ト云フヤウナコトガアレバ、是ハモウ政府ノ各省ガ總掛リニナリ、又國民モ一體ニナツテ之ヲヤル、其ノ世話ヲスル役所ガ茲ニ必要ナノデアリマシテ、其處ニ矢張り其ノ途ノ「エキスパート」ヲ置イテ、此ノ精神ヲ作興サセナケレバイケナイト思ヒマス、今ヤツテ居ラレルノヲ見ルト、各省區々ニヤツテ居ラレルヤウデ、ソレデ此ノ間ハ農林省及ビ商工省ノ方ガ熱意ガ足りナイト云フヤウナコト迄仰シヤラレマシタケレドモ、是ハサウデナクテ、結局ハ啓蒙宣傳トカ、サウ云フコトハ單ニサウムツカシイモノデナシニ、相當ノ時日ガ要ルト思フノデス、其ノ點デ結局、熱意ハ同ジデモ、農林省ハ比較的地方ニ網ヲ持ツテ居ルノデ、有効デアツタリスル、是ハ問題ガ具體的デアルカラ樂デアリマスガ、矢張り政府ガ總掛リ、又國民ガ一體ニナツテ、文化的ノ啓蒙宣傳スル、其ノ世話ヲスル役所ハ今仰シヤラレマシタ文化委員會ト云フヤウナ先程ノ文化ノ世話ト共ニ、此ノ國民運動ト云フヨリモ、國民ノ精神ヲ作興スル任務ヲ持ツ役所ガ是非私ハ必要ダト思ヒマス、是ニハ戰前ニ内閣ノ情報委員會ト云フヤウナモノガ出來テ、其ノ目的ノ爲ニ出來タノデアリマスガ、是ガ段々内閣情報部トナリ、内閣情報局トナツテ、本來ノ文化的ノ啓蒙宣傳ノ任務ガ段々戰爭指導ノ一本槍ニナツテ

終ヒニハ、文化ノ興隆スベキ任務ヲ忘レテ、文化ノ敵トナツテシマツタト云フヤウナモノモアリマス、サウキ商工大臣ガ言ハレマシタ「方ニ非難ノ起ツタト云フ意味ハ、キツト其ノ當時、情報局ニ「サーベル」ヲガシヤツカセテ廢刊トサセタリスル役人ガ居タリ、全部ノ「ラヂオ」ヲ沒收シテ指導者ニ與ヘルトカ、或ハ民間ノ、或ハ一部ノ經營ヲ受ケテ不公平ナ取扱フスルト云フヤウナ、サウ云フコトガ澤山出來タカラト思ヒマスガ、私ハ是非、サウ云ツタヤウナ役所ヲ置クコトガ必要デアリマスガ、唯サウ云ツタヤウナ、前ノ情報局ノ轍ヲ蹈マナイト云フコトヲ冀フ次第デアリマス、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(星島二郎君) 誠ニ京極子爵ノ仰セノ通りデアリマシテ、私モソレヲ念願ト致シマシテ、此ノ間閣議ニ諮リマシタヤウナ次第デアリマシテ、文化院トカ、文化局ト云フヤウナモノヲ我が國ニ設ケテ吳レナイカト云フ所迄申シタノデアリマスガ、趣旨ハ皆賛成ナノデスガ、今日日本ハ敗戦後將ニ民主化セラレムトスル其ノ時ニ、兎モスレバサウ云フ考デナクモ、サウ云フ役所ガ出來ルト云フト、ツイ「要ラヌ統制ヲヤツタリスルトカ、サウ云フ誤解ヲ招クト云フノデ、役所ハ是非取止メニナリマシタ、ソコデ文部省ノ中ニ設ケタラ宜イデヤナイカト云フノデ

ス、文部省ニ設ケマス、少シ教育方面ニ偏スルヤウナ點モアリマスノデ、モツト廣イ意味ニ於テノ扱ヒト致シマシテ、只今申シマシタ文化委員會、是ニハ貴衆兩院議員ハ勿論、學識經驗ヲ持ツ委員ヲ網羅シタ「一ツノ委員會ヲ作リマシテ、此處デ大方針ヲ決メテ、其ノ決メタ方針ヲ一ツ各省ガ實施スル、經濟安定本部ガ出來マシタ因ハ、ドウモ各省割據ニナリマシテ、兎モスレバ豫算ノ分配リニナリ、是ハ「アメリカ」流ノ國務省的ノ經營ニ移シタ方ガ宜カラウト云フ所カラ、私ハ出來タノデアルト思フ、安定本部ハ將來ドウ云フ風ニナリマスガ、一年デ濟ムコトデヤアリマセヌ、一年ニ區切ツテ置イテヤツテ居ル所ニ相當味ガアルノデアリマスガ、此ノ行キ方ハ經濟諸問題ヲ全部此處デ統一シテ、石炭ハ斯ウヤレ、肥料ハ斯ウヤレ、米ノ問題ハ斯ウヤレ、豫算ハ斯ウヤレ、米ノ問題ハ斯ウヤレ、各省ニ割據サセナイデ行ケル一ツノ方法トシテハ、誠ニ是ハ良イ行キ方デアルト思フノデアリマスガ、ソレト同ジヤウニ、矢張り經濟問題以外、無論經濟問題ハ關係致シマスケレドモ、離レタ此ノ一ツノ、モツト高イ意味ノ文化面ノ諸問題ヲ提ヘテ、ドウシテモ一ツ日本ノ將來再建ノ上ニハ、殊ニ精神運動其ノコトガ大變ナ何デアリマスカラ是非トモ相當ナ力ヲ持ツ一ツノ官廳ヲ設ケ、委員會ヲ設ケテ、ソレハ「一ツ施策ヲ作ルト云フコトガ必要ダラウト

思ヒマスガ、ソレガ如何セム、甚ダ残念ナル哉、今日將ニ兎モスレバ反動的ナコトニナリ易イト思ハレル時デアリマスルカラ、今少シ社會ノ落チ著ヲ見マシテ、私ハ此ノ希望ヲ棄テナイデ、是非トモヤツテ見タイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○川上嘉市君 大臣ガ御見エニナリマシタカラ、今朝御質問致シマシタノト多少重複ノ嫌ヒハナイデモアリマセヌガ、今一度伺ヒマス、ソレハ産業ノ再興及ビ振興ト云フモノハ、結局スルニ兩者ノ生産意欲ノ彌ガ上ニモ揚ゲサセルト云フノガ第一デハナイカト云フヤウニ考ヘマス、殊ニ最近ノ國民ノ生活並ニ經濟ノ安定ノ圖上ニ於テハ、一方ニ於テ食糧品ナドノ價格ヲ安定サスト云フコトガ必要デアルト同時に、積極的ニ生産ヲ爲サナケレバナラスト云フコトハ、是ハ誰モガ言フ定論デアリマス、處デ、新時代ノ生産ニ付テ何ガ最も必要カト申シマス、結局ハ最良ノ品物ヲ最も廉ク造ル、斯ウ云フコトヨリ外ニ良法ハナイト思フノデアリマス、サウスル爲ニハ、各經營者ガ自分ノ創意ヲ發揮シ、且能率ノ最も良イ方法デ以テ、此ノ事業ヲ何處迄モ合理的ニ經營スルト云フヨリ外ハ無イノデアリマスガ、此ノ前本會議デチヨツト御質問申シタヤウニ只今ノ商工業方面ノ生産意欲ヲ非常ニ阻止スルヤウナ狀況ガ、今各方面トモ備ツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレハ第一、

思ヒマスガ、ソレガ如何セム、甚ダ残念ナル哉、今日將ニ兎モスレバ反動的ナコトニナリ易イト思ハレル時デアリマスルカラ、今少シ社會ノ落チ著ヲ見マシテ、私ハ此ノ希望ヲ棄テナイデ、是非トモヤツテ見タイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

補償打切り、是デ以テ非常ニ打撃ヲ被
ツテ居ル、其ノ上ニ假ニ幾ラ經營ヲ良
クシテヤリマシテモ、法人税ガ資本ニ
對スル二割五分以上ノ所得ニ對シテハ
九十九「パーセント」デアツテ、僅カ
ニ一「パーセント」シカ残ラヌ、二割
五分以下ノモノニ對シテハ是ガ九十三
「パーセント」四五、詰リ殘ル所ハ僅
カニ六「パーセント」五五シカ無イ、
斯ウ云フ現状デアリマス、如何ニ一
生懸命ニナツテヤツテ見テモ、殆ド手
ニ殘ルモノハ無イ、或工場ガ他ノ工場
ニ比ベテ三倍、五倍ノ能率ヲ擧ゲマシ
テモ、其ノ結果ハ二割五分ヲ超過スル
ト、今ノ處、皆僅カニ一「パーセント」
シカ残ラヌ、斯ウ云フ狀況デアリマス
ト、生産意欲ハ殆ド揚ガラナイ、結局
ハ今日方々デ、「ゼネスト」ナシカガ段
段流行リ掛ケテ居リマスガ、ア、云フ
風ナコトヲシテ、皆デ寄ツテタカツテ
仕事ヲ潰シテシマフト云フヤウナ結果
ニナリハシナイカ、サウシテ給料ヲ上
ゲタ處ガソレガ殆ド全部食糧ニ費サレ
テシマフ、サウシテ物ガナイ、物が出
來ナイト云フト、僅カノ物ニ對シテ澤
山ノ買ヒ手ガ集ルト云フコトニナリマ
スカラシテ、益々闇値ハ高クナルト云
フヤウナ結果ニ了リハセスカト云フコ
トヲ非常ニ心配シテ居ルノデアリマス
一方カラ考ヘテ見ルト、國家ノ財政ヲ
整理スル上ニ税ハ確ニ必要デアリマス
ガ、併シ今ノ狀況デ見マス、此ノ立
チ直ル迄ハ、ドノ會社モ殆ド儲カル會

社ガ無イト云フノガ現状デハナイカト
思ヒマス、新聞ノ營業報告ノ廣告ヲ見
マシテモ、損ト云フノガ殆ド大部分デ
アル、之ニ持ツテ行ツテ、ソレダケノ
重税ヲ課シテ見タ處ガ、總額ニ於テ非
常ニ少ナイノデアリナイカ、寧ろ本當ニ
事業ヲ盛ニスルト云フ意味カラ言ヘバ
當分ノ間ハ今申シマシタヤウナ補償打
切りト云フヤウナ傷手ヲ被ツタ者ニハ
税ヲ免除スルコトガ本當デハナイカト
考ヘル、サウ云フ時今日ノヤウナ高
イ税ヲ以テ苛メ附ケルト云フコトデア
ツテハ、生産意欲モ何モ起リハセスト
思ヒマス、ソレニ付テハ大藏大臣カ
モ御答辯ガアリマシテ、税制委員會デ
調ベタ上デ、改正スルヤウナ案デモ、
次ノ議會ニ出スカモ知レナイト云フヤ
ウナ御話ガソツタノデスガ、商工御當
局トシテ、特ニ御管掌ノ各商業、工業
ガ盛ニナリマスヤウニ、是非特別ノ御
盡力ヲ願ヒタイト存ジマス
○國務大臣(星島三郎君) 全ク仰セノ
通りデアリマシテ、生産意欲ヲ増ス爲
ニハ、或程度迄矢張り利潤追求ト云フ
觀念デハナク樂シミト云フ意味カラ言
ヒマシテモ、算盤ガ合フヤウニシナケ
レバナラスノデアリマス、併シ今日ト
致シマシテハ、所謂資本主義ト云フモ
ノハ相當修正シナケレバナラスト云フ
觀念カラ言ヒマシテ、必ズシモ利潤追
求ト云フコトノ觀念ヲ中心ニ總テノ産
業政策ヲ立テ爾譯ニハ參リマセズ、殊
ニ不足物資ニ付キマシテハ、斯ウ云フ

面倒ナ法律ヲ作ツテ調整シテ行カナ
ケレバナラス、ソレハ非常ニ生産意欲
ヲ阻害スルコトハ當然ナ話デアリマス
併シナガラ是ハ已ムヲ得ヌ過渡的ナモ
ノデアリマシテ、物資ガ豐富ニナツタ
後ニ於キマシテハ、矢張り自由經濟ノ
原則ノ下ニ、一ツ生産意欲ヲ刺激トシ
テ起サスト云フノガ建前ダト思ヒマス
私自身モ、實ハ自由經濟ヲ主眼トスル
自由黨ニ身ヲ置イテ居ルノデアリマス
ガ、併シ是ハ今日ノヤウナ非常時ノ物
資需給不均衡ノ場合ニハ、總テ制限ヲ
置カナケレバナラスコトハ已ムヲ得ナ
イコトデアリマシテ、同時ニ又、今日
ノ憲法モ變リマスヤウナ譯デアリマシ
テ、財産スラ自分ノ物デアツテ、自分
ノ物デナイ、非常ニ社會性ヲ帯ビテ來
ル譯デアリマス、自分ガ働イテ立派ナ
物ヲ作ツテ、ソレニ依ツテ國家ノ爲ニ
貢獻スル、或ハ社會ノ爲ニ盡スト云フ
所ニ非常ニ満足感ナリ希望ガ出來テ、
ソレニ依ツテ益々努力スルト云フ氣持
從來努力シテ金ガ儲カツテ行クトカ、
財産ガ出來テ行クトカ云フコト以外ニ
他ノ一ツノ喜ビガ觀念トシテ出來ル
ト云フコトガ社會全體ノ爲ニ要望サレ
生替ツテ來テ、一ツノ社會建設トモ
ナルノデアリマスカラ、其ノ間ノ事
情ヲ調整シテ行カケレバナリマセ
ス、併シナガラ長イ間ノ習慣ト、人間本
來ノ私ト云フモノハ、去ル譯デハアリ
マセスカラ、矢張り或程度迄ハ自分ガ
働ケバ自分ノ物ニナルト云フ其ノ概念

ヲ捨テテ行カス、是ハ如何ニ社會
主義ノ世ノ中ニナリマシテモ、ソレハ
捨テテス又、今日社會黨ノ人達モソ
レヲ主張シテ居ル譯デアリマスカ、
サウ云フ點カラ申シマシテモ、仰セノ
如ク造ツタ物品ニ對シテハ、全部税金
デ徵ツテシマフト云フ今日ノ物品税ト
云フモノモ、決シテ生産意欲ヲ増シ、
日本ガ見返リ物資ヲウツ造ツテ、世
界ニ雄飛スル、一ツノ行キ方デハナイト
思ヒマス、是等ハ大藏大臣御言明ノ如
ク、早急ニ一ツ、之ヲ是正スル一ツノ
審議會ヲ開イテ、ソレニ依ツテ相當、
昔トハ程度ハ變リマセウケレドモ、現
在ノ儘デハ到底行ケナイノデアリマス
カラ、是ハ一ツ改廢政シマシテ、十分
産業ノ上ニ皆ノ熱ガ出ルヤウナ調子ニ
變ヘテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯
デアリマス
○委員長(男爵古市六三君) 他ニ御質
問ハアリマセスカ
○政府委員(吉田悌二郎君) 田中委員
ノ御質問デ、昔任罪ノ罰則ノ點デアリ
マスガ、矢張り最高十年デゴザイマス
○男爵田中龍夫君 私ノ申シマシタ趣
旨ハ既ニ御了承ヲ戴ケタト思ヒマスガ
統制ヲ致シマス、其ノ統制ノ衝ニ當
リマスル官吏ナリ公務員ト云フモノノ
綱紀ト云フモノガ最も大事デハナイカ
サウ云フ點デ人ヲ罰スル以上ハ、自
ニ對シテモ強イ律ト云フモノガ必要ダ
ト思ツテ何ツタ次第デアリマス、尙其
ノ外、色々細カイ問題モ申シマシタガ、

此ノ趣旨モ要スルニ新ラシイ統制ガ出
來ルニ付テハ、今迄ノヤウナ非常ニム
ヅカシイ事務手續ト云フモノガ、出來
ルダケナクナリマシテ、簡素ニナルヤ
ウニト云フノガ本旨デアリマスノデ、
此ノ點ニ言申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ
終リマス
○委員長(男爵古市六三君) 別ニ御發
言モナイヤウデアリマスカ、質疑ハ
終了シタモノト認メ、直チニ討論ニ移
リマス、御異議ガゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(男爵古市六三君) 御異議ガ
ナイモノト認メ討論ニ入リマス、臨時
物資需給調整法案ヲ議題ト致シマス
○川上嘉市君 私ハ本法案ノ衆議院デ
改正サレタ案ニ賛成スルモノデアリマ
ス、既ニ澤山ノ討議ガ行ハレマシテ、
法案ソレ自身トシテハ、私ハ是デ適當
ト考ヘマス、ソレニ關シテ私ノ一ツノ
希望ガアリマスガ、計畫官應ト實施官
應トノ間ニハ、實際此ノ本法ヲ施行サ
レル上ニ於テ、色々具體的ノ問題ニ付
テ種々ナル問題ガ起ラウト考ヘルノデ
アリマスガ、安定本部ハ實施官應ノ、
即チ商工省ノ自主的立場ヲ諒トセラレ
テ、共ニ一體ノ活動ニ付テ特ニ留意
セラレルコトヲ希望トシテ申述バマス
○伯爵王生基君 私も賛成意見ヲ申
述バマス、昨日来、田中委員ガ戰爭中
企畫院ニ於カレマシテ、此ノ計畫ヲ立
案セラレル立場ニ居ラレタ御經驗ニ基
イテ、該博ナル御質疑ガゴザイマシタ

私モ其ノ當時、多少之ニ關係シタ者トシテ其ノ經驗ニ基イテ、二、三ノ希望意見ヲ附ケタイト思ヒマス、此ノ案其ノモノニ對シテハ、法三章ノ委任立法デアリマスカラ、兎ヤ角意見ヲ附ケル所ハ全然ナイト思ヒマスガ、唯第一ト致シマシテハ、甚ダ失禮ナ言ヒ方ヲ申上ゲルノデスガ、商工省始メ色々ノ協議會トカ或ハ販賣會社トカ、サウ云フモノノ末端ニ至ル迄ノ之ニ關與セシレマス方ガ、實需者ノ希望ト云フモノヲ御存ジナイ方ガ多イ、結局需者ノ立場ト云フモノガ全然加味サレナイデ、紙ノ上ノ統制ヲスルト云フ場合ガ間々アルガ、矢張り斯ウ云フヤウニ委任立法ニナリマス、大部分ガ省令ニ委任サレテ行ク結果ニナリマシテ、命令一本出レバドウニデモナル、又實需家ノ希望ト云フモノヲドウ云フ方法テ酌ミ取ツテ行クカト云フコトハ、委員會其ノ他ニ於テオヤリ戰クコトトシテ十分酌ミ取ツテ戰キタイ、斯ウ云フコトトモウ一ツハ、次ハ各需者ノ團體ガ割當ヲヤル、ソレニ基イテ切符ナリ、何ナリニ依ツテ、物資ヲ取ル譯デアリマスカ、ソノ場合、アトノ「トン」ナリ、三「トン」ナリアレバ、此ノ機械ハ完全ニ出來上ツテ動キ出スト云フヤウナ場合ニ於テ、割當制度デ按分比例カ何カデヤツテシマフ、其ノ結果二、三「トン」ノ物ガナイ爲ニ機械ガ立チ腐レニダツテ行クト云フ例ガ戰爭中ハゴザイマシタ、間々アツタ、今後モ斯ウ云フ

コトハ避ケ得ラレナイノデハナイカ、之ヲ如何ニスレバ避ケ得レルカ、例ヘバ中央保留、商工省ガ御持チニナツテ居ルモノヲウマク運用シテ、サウ云フヤウナコトニ付アハ十分ノ御留意ノ願ヒタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、結局、法案其ノモノニハ、斯ウ云フ際デアリマスカ、賛成スルノデアリマスガ、唯運用ト云フモノ、付アハ、唯統制セムガ爲ニ統制ト云フモノ、ナゾニ、此ノ第一、條ノ最初ニ掲ゲアザイマスル目的ニ適合スルヤウニ、十分立派ニ運用シテ戰キタタイト云フ希望條件ヲ附ケマシテ終リマス

○委員長(男爵古市六三君) 御發言モ盡キタヤウデアリマスカ、是カン直チニ採決ニ入リマス、本委員會ニ付託ニ相成リマシタ、臨時物產需給調整法案ハ、原案、即チ衆議院修正案ノ通り可決スルコトニ御異議ハアリマヒスカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
○委員長(男爵古市六三君) 御異議ガナイモノト認メテ、左様決定致シマス是ニテ本委員會ハ終了致シマシタ、散會致シマス

午後三時十六分散會
出席者左ノ如シ
委員長 男爵 古市 六三君
副委員長 子爵 柳澤 光治君
委員

公爵 桂 廣太郎君
侯爵 廣幡 忠隆君
伯爵 壬生 基泰君

子爵 森 俊成君
子爵 交野 政邁君
子爵 島居 忠博君
子爵 京極 高銳君
長岡半太郎君
男爵 伊藤 一郎君
男爵 奥田 剛郎君
男爵 加藤 成之君
男爵 田中 龍夫君
大木 操君
川上 嘉市君
三橋四郎次君
松本勝太郎君
中山 太一君
河端作兵衛君
岩淵 辰雄君
上野喜左衛門君

國務大臣 星島 二郎君
國務大臣 膳 桂之助君
商工大臣 島本 融君
農林次官 楠見 義男君
農林技官 中尾 勇君
農工事務官 吉田第二郎君
同 鈴木 重郎君

政府委員
內閣事務官
農林次官
農林技官
農工事務官
同
大藏事務官
市瀬 泰藏君

說明員
大藏事務官
市瀬 泰藏君